

かすみがうら市議会一般会計決算審査特別委員会会議録

平成30年9月25日 午前 9時55分 開 議

出 席 委 員

委 員 長	川 村 成 二
副委員長	櫻 井 繁 行
委 員	佐 藤 文 雄
委 員	田 谷 文 子
委 員	来 栖 丈 治
委 員	設 楽 健 夫
委 員	久 松 公 生

欠 席 委 員

な し

出 席 説 明 者

副 市 長	横 瀬 典 生
教 育 長	大 山 隆 雄
教 育 部 長	辻 和 徳
農業委員会事務局長	大久保 定 夫
消 防 長	雨 貝 忠
会 計 管 理 長	堀 口 家 明
議会事務局長	前 島 嘉 美
消 防 次 長	武 田 義 信
学校教育課長	加 藤 洋 一
生涯学習課長	仲 澤 勤
スポーツ振興課長	金 子 俊 文
消防総務課長	田 山 明 夫
会 計 課 長	横 田 茂
教育指導室長	岡 野 浩 則
学校教育課長補佐	磯 山 健 史

出 席 書 記 名

学 校 教 育 課	井 坂 好 克
政 策 経 営 課	川 俣 公 則
議 会 事 務 局	齋 藤 邦 彦
議 会 事 務 局	檜 山 宏 美

議 事 日 程

平成30年9月25日(火曜日)午前 9時55分 開 議

1. 議案の審査

(1) 議案第53号 平成29年かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

開 議 午前 9時55分

○川村成二委員長

予定時刻前でございますが、全員おそろいですので、始めさせていただきます。

ただいまの出席委員は7名で、会議の定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから一般会計決算審査特別委員会を開きます。

本日は、議案第53号のうち、教育委員会の所管に係る部分を議題として始めさせていただきます。説明を求めます。

教育部長 辻 和徳君。

○教育部長(辻 和徳君)

それでは、私から教育委員会全体の概略につきまして、ご説明をさせていただきます。

初めに、平成29年度の執行体制につきまして、ご説明を申し上げます。

組織といたしましては、平成29年度は2課1室5館12担当制で執行をしております。職員数は部長を含めまして34名在籍で行ってまいりました。内訳といたしましては、市内の公立小中学校を所管いたします学校教育課職員13名、社会教育・体育全般を所管いたします生涯学習課20名という内訳となっております。

続きまして、平成29年度の決算の概略をご説明申し上げます。

一般会計歳入歳出決算書でございますけれども、こちらの7ページ、8ページに教育費が掲載をされております。教育費全般の数字が記載されているかと思っております。

それでは、10款の教育費につきましては、平成28年度からの繰越分等も含めまして予算現額17億136万8000円のところで、支出済額16億3374万4262円の支出でございまして、執行率は96.03%となっております。不用額は6762万3738円という状況でございました。なお、小中学校の施設整備の主要工事がほぼ完了いたしましたことから、平成28年度に確保いたしました8億1700万円ほどの減少となっております。

それでは、詳細につきまして、学校教育課長、生涯学習課長から順次ご説明をさせていただきますが、5款の保健体育費につきましては、今年度から設置をされましたスポーツ振興課長からの説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○川村成二委員長

それでは、説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長(加藤洋一君)

それでは、学校教育課所管の平成29年度歳入歳出についてご説明いたします。

まず、歳入についてですが、決算書 29、30 ページをお願いいたします。

14 款 2 項 5 目 1 節小学校費補助金の備考欄、特別支援教育奨励金補助金は、特別支援学級に在籍する児童を対象とした学用品等の購入に対する助成で、補助率は 2 分の 1 となっております。

次に、理科教育振興備品購入補助金は、理科教材の購入に対する助成で、補助率は 2 分の 1 でございます。

次に、学校施設環境改善交付金は、霞ヶ浦南小学校の給食室増改築及びエレベーター改造に伴う交付金でございます。給食室の補助率は、改築部分が 3 分の 1、増築する部分が 2 分の 1、またエレベーターの改造は 3 分の 1 となっております。

次に、観察実験アシスタント事業補助金は、小学校の理科実験観察の補助員の配置に対する助成で、補助率が 3 分の 1 です。

次に、へき地児童生徒援助費等補助金は、霞ヶ浦南小学校スクールバス 10 ルート及び霞ヶ浦北小学校 8 ルートの運行経費に対する助成で補助率が 2 分の 1 でございます。

続きまして、決算書 31、32 ページになります。

上段の 2 節中学校費補助金の備考欄、特別支援教育奨励費補助金は、小学校と同じ内容でございます。特別支援学級に在籍する生徒を対象とした学用品等の購入に対する助成でございます。

次に、理科教育振興備品購入補助金も小学校費と同様で、理科教材の購入に対する助成でございます。

続きまして、学校施設環境改善交付金は、霞ヶ浦中学校の給食室増改築及びエレベーター改造に伴う交付金でございます。補助率は、小学校費補助金と同様で、給食室につきましては改築部分が 3 分の 1、増築する部分が 2 分の 1、エレベーターの改造が 3 分の 1 となっております。

次に、へき地児童生徒援助費等補助金。霞ヶ浦中学校スクールバス 3 ルートの運行経費に対する助成で、補助率 2 分の 1 となっております。

次に、要保護児童生徒援助費補助金は、生活保護世帯に対する修学旅行費の助成でございます。補助率は、2 分の 1 です。

続きまして、41、42 ページをお願いいたします。

15 款 3 項 5 目 1 節の教育総務費委託金の備考欄、学力向上サポートプラン授業委託金は、夏休みの 5 日間、小学校の 4 年生、5 年生を対象に算数の計算力向上を目的として実施をしております、学びの広場に対する県の委託金で全額助成となっております。

続きまして、決算書 45、46 ページをお願いいたします。

16 款 2 項 2 目 1 節物品売払収入になります。備考欄、物品売払収入 306 万 1277 円のうち、学校教育課分は 359 万 277 円となっております。霞ヶ浦地区の廃校となった小学校の備品をインターネットで公売した売払収入となっております。

続きまして、決算書 53、54 ページをお願いいたします。

20 款 5 項 7 目の雑入になります。備考欄、上から 8 つ目の日本スポーツ振興センター納付金（小・中学校分）になります。こちらは、日本スポーツ振興センターへの納付金で、児童生徒の災害共済の個人負担分となっております。

歳入については、以上でございます。

続きまして、歳出ですが、事務事業評価シートでご説明をさせていただきます。

事務事業評価シート 223 ページになります。決算書が 86 ページになります。

それでは、04 ひと創生事業（政策）でございます。平成 29 年度におきましては、地方創生の部署で実施していた事業であります。平成 30 年度から一部が学校教育課に所管がえされた事業でございます。

ます。中学生を対象に郷土を愛し誇りに思う心を育み、未来のまちづくりを考えることができる人材を育成するため、さらに進学や就職に当たるタイミングでの帰郷、定住の後押しとなることを目指す子どもミライ学習を実施しております。主な支出といたしましては、講師謝礼 47 万 5000 円のうち 44 万 5000 円は、地元で活躍する若手事業者が中学校に出向いて、地元で働く魅力や地域のかかわりなどをテーマに授業を行っていただく際の謝礼でございます。

それから、委託料 106 万 1100 円のうち 59 万 6700 円は、市の歴史や産業などを収めた映像を教材として使用する DVD の製作及びパンフレットの作成にかかる経費でございます。

次に、事務事業評価シート 225 ページ、決算書が 189、190 ページになります。

09 指導主事設置事業（政策）になります。

[「決算書の 86 ページのどこを言ったのですか」と呼ぶ者あり]

○学校教育課長（加藤洋一君）

86 ページの地方創生費、一番下のところ、ひと創生事業（政策）の部分になります。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前 10 時 08 分

再 開 午前 10 時 12 分

○川村成二委員長

再開します。

説明を求めます。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

それでは、次の 225 ページ……。

○川村成二委員長

今の話を整理して、発言してください。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

それでは、事務事業評価シート 223 ページと決算書の数字が違ってございますが、その差につきましては、旅費の部分が政策経営課の支出で、学校教育課分には含まれてございません。その差がこの金額となっております。失礼いたしました。

続きまして、事務事業評価シート 225 ページ、決算書が 190 ページとなります。

09 指導主事設置事業（政策）になります。

市内小中学校教育水準の向上を図るため、教職員研修等を実施している内容となっております。平成 29 年度は、筑波大学及び明星大学の教授を講師として招いて、モデル授業などの研修を実施しております。なお、平成 28 年度は、いじめ防止に係る授業もこの授業の中で行ってございましたが、平成 29 年度は、教育相談事業に移行し、授業を行っておりますので、支出額が減っている状況となっております。

次に、事務事業評価シート 227 ページ、決算書 192 ページとなります。

14 英語指導助手設置事業（政策）となります。

英語授業の充実、国際理解教育の充実を目的といたしまして、外国人の英語助手を中学校に 1 名ず

つ計3名、それから小学校は2名で8校を担当しておりまして、合計5名の配置をしているものでございます。

次に、事務事業評価シート229ページ、決算書が192ページとなります。

21 教育推進団体設置事業になります。

教育水準の向上、教職員の資質向上を目的としている事業です。内容としましては、論文発表会、学校へ研修会、教育講演会、また児童生徒の音楽発表会、小学校の陸上記録会等に伴う助成でございます。

次に、事務事業評価シート231ページ、決算書同じく192ページになります。

20 中学校部活動支援事業（政策）となります。

部活動において各種大会へ参加するための移動手段としてのバス借り上げ料1096万9101円。それから、市の総合体育大会、それから新人戦の運営に係る助成及び全国、関東大会出場への宿泊費、参加費等の助成393万1000円でございます。

次に、事務事業評価シート231ページ、決算書同じく192ページになります。

30 学校統合推進事業（政策）になります。

小学校の統合校において円滑な学校運営、教育環境の充実を図るため、霞ヶ浦南小学校及び霞ヶ浦北小学校へ各1名非常勤講師を配置しているものでございます。

次に、事務事業評価シート235ページ、決算書194ページとなります。

05 小学校管理運営事業になります。

霞ヶ浦南小学校10ルート、霞ヶ浦北小学校8ルートのスクールバス運行及びプール授業のため、霞ヶ浦北小学校から霞ヶ浦南小学校へ移動する際の送迎等に係る臨時増発便の経費で、合計1億3804万9343円です。それから、学校敷地内の除草や枝払い等を行っている学校校務員2名の配置に係る経費229万7040円でございます。

次に、事務事業評価シート237ページ、決算書196ページになります。

10 小学校給食管理運営事業（政策）になります。

給食調理の業務委託に係る経費で志筑小学校、上佐谷小学校については、千代田中学校で調理をし、ケータリングを行っております。また、平成28年度の委託料と比較しますと、約1300万円減額となっております。これは、入札を実施したことによりまして減額となっているものでございます。

次に、事務事業評価シート239ページ、決算書同じく196ページとなります。

12 小学校児童安全推進事業（政策）になります。

非行防止活動に対する団体の活動を支援し、非行防止の推進を図ることを目的に子どもを守る母の会への補助を行っております。平成29年度は非行防止の啓発物品等に係る経費で、市が2分の1を助成してございます。

次に、事務事業評価シート241ページ、決算書196ページです。

03 小学校図書室運営事業（政策）になります。

小学校図書の蔵書の充実を図り、児童の読書意欲の向上を図ることを目的とし、図書の購入それから図書館司書の配置等に係る経費でございます。司書につきましては、小学校費としては司書1名分を計上しております。週3日が霞ヶ浦南小学校、週2日が霞ヶ浦北小学校で図書の整理等を行っております。他の小学校につきましては、中学校費で計上している司書3名が、中学校と合わせて小学校の図書の整理を行っております。

続きまして、事務事業評価シート243ページ、決算書198ページになります。

05 小学校教材備品整備事業（政策）になります。

児童の学力向上及び授業の効率化と教材教具の充実を図ることを目的としまして、教材 478 万 5103 円を購入しております。内訳といたしましては、教育振興備品 320 万 3911 円、それから理科振興備品 158 万 1192 円となっております。歳入の国庫補助金につきましては、理科振興備品の補助金でございます。

また、備品購入費が平成 28 年度と比較をしますと、約 200 万円増額となっておりますが、平成 28 年度においては統合を踏まえておりまして、その廃校となる学校の備品を各学校に配分することとしていたため、予算計上を必要最小限にとどめていたためでございます。

次に、事務事業評価シート 245 ページ、決算書 198 ページでございます。

07 小学校コンピューター設置事業（政策）になります。

主な経費といたしましては、児童用のパソコン、プリンター、サーバー機の借り上げ料 1566 万 6480 円でございます。また、役務費の電話料でございますが、こちら情報広報課におきまして、光回線を安価なものに見直したことによりまして、平成 28 年度と比較しますと約 90 万円減額となっております。

それから、委託料ですが、平成 28 年度において、統合により廃校となった学校のパソコンを各学校へ再配置をしておりまして、その移設費用が発生してはございましたが、移設が完了したことにより、平成 29 年度はゼロとなっております。

次に、事務事業評価シート 247 ページ、決算書 198 ページでございます。

10 小学校教育振興事業（政策）になります。

各種事業を実施し教育の振興を図るため、理科観察実験アシスタント配置事業の実施、学力向上サポート事業の実施、それから複式学級への T T 非常勤講師配置は、上佐谷小学校へ 2 名配置してございます。

さらに、学校生活相談員として、警察の O B の方を霞ヶ浦北小学校に配置をしてございます。主な経費といたしましては、報酬 690 万 7500 円になります。内訳といたしましては、T T 非常勤講師 2 名分 355 万 2500 円、学校生活相談員 4 名分 335 万 5000 円となっております。賃金につきましては、理科観察実験アシスタント 5 名分の 283 万 3740 円となっております。

また、歳入でございますが、国庫補助金が理科観察実験アシスタント、県の委託金が学力向上サポート事業委託金となっております。

次に、事務事業評価シート 249 ページ、決算書 198 ページでございます。

07 下稲吉小学校施設整備事業（政策）になります。

主な内容といたしましては、下稲吉小学校の東側の門及び駐車場の舗装工事 3724 万 3800 円、それから、グラウンド整備といたしまして砂の入れかえ等を行っておりまして、487 万 800 円を実施してございます。

次に、事務事業評価シート 251 ページ、決算書同じく 198 ページでございます。

09 美並小学校施設統合環境整備事業（政策）になります。

こちらは、霞ヶ浦南小学校の給食室改築工事 1 億 6124 万 8395 円、それから、給食室で使用をいたします厨房機器の購入費 3159 万 9925 円となっております。

次に、事務事業評価シート 253 ページ、決算書は 200 ページとなります。

03 中学校管理運営事業（政策）になります。

小学校の管理運営事業と同様となります。各学校に 1 名ずつ配置しております学校校務員の賃金 325 万 3020 円、それから、中学校のスクールバスの運行経費 2842 万 1280 円でございます。

次に、事務事業評価シート 255 ページ、決算書 202 ページでございます。

05 中学校施設維持管理事業（政策）になります。

千代田中学校校舎の屋根の補修工事といたしまして 1592 万 2440 円、それから、霞ヶ浦中学校の武道館耐震化を行うための設計 49 万 8960 円となっております。

次に、事務事業評価シート 257 ページ、決算書が 202 ページでございます。

08 中学校給食管理運営事業（政策）になります。

こちらも小学校費と同様となりますけれども、中学校給食調理の業務委託に係る経費で、平成 28 年度と比べますと、入札を行った結果、委託料が約 1100 万円減となっております。

次に、事務事業評価シート 259 ページ、決算書 204 ページでございます。

10 中学校生徒安全推進事業（政策）になります。

生徒の安全確保のため、自転車通学の生徒へのヘルメット購入に対する補助で、1 人当たり 1,000 円の助成でございます。

次に、事務事業評価シート 261 ページ、決算書 204 ページでございます。

04 中学校図書室運営事業（政策）になります。

小学校と同様の内容となりますが、図書の購入、それから、図書館司書 3 名分の配置等に係る経費でございます。

次に、事務事業評価シート 263 ページ、決算書 204 ページでございます。

06 中学校教材備品整備事業（政策）になります。

こちらも小学校と同様の内容となりますが、教育振興備品 299 万 5829 円、理科振興備品が 133 万 3008 円となっております。

歳入の国庫補助金につきましては、理科振興備品購入補助金でございます。

次に、事務事業評価シート 265 ページ、決算書 204 ページでございます。

08 中学校コンピューター設置事業（政策）になります。

こちらも小学校と同様となりますが、生徒用のパソコン、プリンター、サーバー機の借り上げ料でございます。

次に、事務事業評価シート 267 ページ、決算書 204 ページでございます。

11 中学校教育振興事業になります。

主な経費といたしましては、報酬 941 万 1640 円でございます。内訳といたしまして、下稲吉中学校と霞ヶ浦中学校に配置をしている学校生活相談員 4 名分の報酬 346 万 5000 円、それから小中学校非常勤講師 3 名分の報酬 594 万 6640 円でございます。こちらは、平成 29 年度から新たに実施している事業でございます。小中連携を推進するため、英語の非常勤講師を市内 3 中学校に配置をいたしまして、中学校区全ての小学校へ英語の乗り入れ授業を行うものでございます。

次に、事務事業評価シート 269 ページ、決算書 204 ページでございます。

07 霞ヶ浦中学校施設統合環境整備事業（政策）になります。

こちらは、霞ヶ浦中学校の給食室改築工事といたしまして、2 億 1177 万 1800 円と、給食室で使用をいたします厨房機器の購入費 4183 万 8592 円でございます。

それから、経常事業のため、事務事業評価シートはございませんが、就学援助費の要保護、それから準要保護についてご説明いたします。

小学校、中学校合わせた数字となりますけれども、資料は用意してございません。

○川村成二委員長

それでは、続けてください。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

合計の数字となりますが、要保護の該当者が8名、それから準要保護が156名、計164名。認定率が5.08%となっております。平成28年度と比べますと20名の増、認定率が0.7%の増となっております。

説明については、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○川村成二委員長

事務事業評価シートの中で、04節の共済費が決算書と比べて入っていたり入っていなかったり、部分的に入っていたりというのが見受けられますが、全体を通して共済費の整理はできますか。こういう部分は入れて、こういう部分は除いていますという説明はできますか。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

どういったようなものが対象になっているかというようなことでよろしいですか。

○川村成二委員長

概要で結構です。

暫時休憩します。

休 憩 午前10時33分

再 開 午前10時36分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

最後になりますけれども、全体を通しまして人件費等の保険料、こちらは臨時職員にかかわるものがございますが、決算書としましては学校教育課分に入っておりますが、管理といたしましては総務課の管理となりますので、数値が若干違ってございます。

4節の共済費も同様に総務課の扱いとなっておりますので、数値がゼロになっていたり、違っている部分がございます。大変失礼いたしました。

○川村成二委員長

以上で、説明が終わりました。

それでは、学校教育課に対する質疑等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

来栖委員。

○来栖丈治委員

歳入でお伺いします。

決算書30ページのへき地児童生徒援助費等補助金3300万円で、小学校のスクールバス18ルートについての説明があったかと思いますが、全体で1億3800万円ほど支出があるわけですが、補助率とか何か、その内容をちょっと教えていただけますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

はい。まず、小学校費スクールバスといたしましては、全体で1億3800万円ほどかかっています。そちらのうち3342万6000円が国からの補助、これは補助率2分の1となっています。補助の対象の人は、4キロメートル以上が補助対象で、その乗る対象に対しての2分の1で、3342万6000円となっています。そのほかの歳入としましては、こちら政策経営課になりますけれども、基金が入っています。決算書47、48ページになります。一番上の地域振興基金繰入金は、中学校、小学校に入っています。補助金以外の部分が、基金という内訳になっています。

以上でございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

4キロメートル以上の登校している児童が対象で、国の補助金はあるということで、それ以外はいわゆる地域づくり振興基金の取り崩しによって、対応しているというお話だったと思うのですが、4キロメートル以上以下概算で結構なので、対象が何人で、国庫の対象になっていない人が何人と今答えられますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

数字的には持ちあわせてございませんが、バスに乗っている方が、2キロメートル以上でバスに乗っております。そのうち4キロメートル以上が対象ということです。何パーセントとか数字はちょっと、今、もちあわせてございません。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

あとで教えていただきたいと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今、4キロメートルと7キロメートル。中学校は7キロメートルでしたよね。小学校は7キロメートルだった気がするのですが、いずれにしても平成28年度と比較してどうなっているのか。始まったのがいつなのか。それで、国からの補助対象は5年間でしたか。それも含めて教えていただけますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

まず、補助対象が中学校は6キロメートル以上となります。

平成28年度と平成29年度は比較しますと、まず乗っている状況でございますが、中学校は平成28年度が、97名利用しております。平成29年度につきましては、90名を利用しております。それから、小学校につきましては、平成28年度は、霞ヶ浦南小学校が285名、霞ヶ浦北小学校が237名、平成29年度につきましては、霞ヶ浦南小学校が269名、霞ヶ浦北小学校が235名となっております。

まず、補助が中学校につきましては、平成26年から5年間で、平成30年度末までは補助対象とな

っております。小学校につきましては、平成 28 年度から平成 32 年度の 5 年間でございます。中学校につきましては、今年度まででございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

決算書 197、198 ページです。

小学校施設整備事業で、下稲吉小学校が不用額 4100 万円ほど出ていて、そのうち 3900 万円が工事請負費となっているかと思いますが、予定していた工事ではなくなったということかと思いますが、この辺ちょっと詳しく説明してもらえればと思います。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

はい。この事業につきましては、入札を行っておりまして、その差金ということで、不用額が出ている状況でございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

いくらの工事で、いわゆる下稲吉小学校の工事 1 つだけなのかどうか分からないですが、いわゆるどの程度のもので、1 つの工事で 3900 万円の差額が出たということで理解してよろしいですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

そのとおりでございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

工事内容的の概略を教えてください。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

下稲吉小学校の東側の門側になりますけれども、そちらの門の整備と、学校の先生方それから保護者がとめます駐車場の補装の工事が該当工事となります。それから、下稲吉小学校のグラウンドの整備といたしまして、砂の入れかえ等を行っている工事の 2 点でございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

砂の入れかえ等は、きっとそんなに価格の変動はなかったかと思いますが。外構工事が、いわゆる予算積算のときと、入札時に何らかの変化が相当あったのかどうか。予算の積算が甘かったのかと想像できる数字かと思いますが、そここのところ補足の説明があれば、お願いしたいと思います。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

入札を行ったときの予定価格、それから落札した額を比較しますと 90.39%となっておりますので、価格については適正な価格ではないかと考えております。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今の件では、入札の契約一覧表があるのですが、それはいつの契約日でしたか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成 29 年 5 月 29 日契約をしております。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それで、決算不用額調書のところに、下稲吉小学校整備事業の工事請負費で、不用額が 65 万 4803 円となっていますよね。歳入歳出主要事業執行結果説明書 44 ページのところですよ。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前 10 時 48 分

再 開 午前 10 時 54 分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

大変失礼いたしました。

まず、不用額として出ておりますのが、下稲吉小学校施設整備事業と美並小学校施設統合環境整備事業を合わせたものが不用額となっております。合計で 3940 万 6408 円が不用額となっております。内訳としましては、下稲吉小学校整備に係る不用額が 65 万 4803 円、それから美並小学校施設統合環境整備が 3875 万 1605 円という内訳でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

いやいや、だから、ここに違うでしょう。整備工事の請負費のところ、今あなたが言ったように、不用額が 65 万 4803 円と言ったでしょう。これ、外構工事では契約差金はもっと大きいのではないかと聞いたのだよ。何でこういう数字になったのかを聞いています。この内訳はわかりますか。今の差金は違うでしょう。354 万 2000 円でしょう。違うの。65 万 4803 円は何なの。どうやって見ればいい

の。難しくない。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前10時56分

再 開 午前11時02分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

今のご質問ですが、後で資料等をお示ししまして、内訳等も説明させていただきたいと思います。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

非常勤講師の件もいろいろ出ていたのですが、非常勤講師は何人いるのかも、一覧でわかるようにしてもらいたいよね。非常勤講師が、平成28年、平成29年はどういうふうに配置されたのか対比してわかるようなものを、まず口頭でおっしゃっていただけますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

教育委員会で雇っております臨時職員につきましては、まず学校の司書が4名、平成28年度につきましても4名で一緒でございます。

それからTT非常勤講師、上佐谷小学校に配置をしておりますが、こちらも2名で、平成28年度同様2名となっております。

それから学校校務員、こちらが小・中学校合わせて5名で、平成28年度も5名と同じ数となっております。

それから、観察実験アシスタントは、理科の実験等に伴うものでございまして、平成28年度、平成29年度、5名の配置となっております。

それから、学校生活相談員は、霞ヶ浦北小学校に配置しております警察のOBの方ですが、こちら4名で、平成28年度も4名となっております。

それから、小中連携非常勤講師は、平成29年度からの新たな事業でございます。平成29年度から3名でございます。

内容は、以上でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ということは、平成28年度、平成29年度を比較すると、3名ふえたということによろしいですね。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

はい、そのとおりでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、要保護については、国からの生活保護費ですので、補助が出ているとは思いますが、準要保護については出ていませんよね。一般財源ということになります。今、平成 29 年度の数値をおっしゃいました。平成 28 年度もちょっと数値言ったのですが、書きとめられなかったのです。この準要保護と要保護に対する小学校、中学校の一覧表はつくっていらっしゃるのではないですか。

そういう一覧表をつくってあれば、ちゃんと皆さんに提出して説明してもらいたいのです。いかがですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

つくってございますので、後ほど提出させていただきたいと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

そういうことでね、きちっと説明ができるのであれば、必要なものとしてやってもらいたいと思います。

それと、平成 29 年度は厨房設備の取得がありましたよね。霞ヶ浦南小学校が 3078 万円、それから霞ヶ浦中学校給食厨房設備が 3989 万 5000 円とありましたけれども、これの入札の実態はわかりますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

まず、霞ヶ浦中学校につきましては、入札を平成 29 年 7 月 31 日に行っております。

厨房機器の購入につきましては、応札された業者が 6 者でございます。落札した業者が茨城アイホー調理機株式会社が、落札率 95.78%で落札をしております。

それから、霞ヶ浦南小学校の備品購入につきましては、同じく入札が 7 月 31 日に行っております。応札業者が同じく 6 者でございます。茨城アイホー調理機株式会社が落札をしております、落札率 88.77%でございました。

以上です。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これは、指名競争入札ですか、一般競争入札ですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

小学校、中学校両方とも指名競争入札でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これは教育委員会の管轄だから、検査管財課ではないということになるかとは思いますが、これ一般競争入札にしない理由は何かあるのですか。指名競争入札にした理由はあるのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

入札につきましては、検査管財課になりますので、どうして指名というのはちょっとわかりかねます。申し訳ございません。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

子どもミライ学習について、事務事業評価シート 223 ページでいろいろおっしゃいましたけれども、委託先はどういうところですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

委託につきましては、DVD制作であるとかパンフレット制作を委託してございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

答弁になっていないよ。委託先言っていないのだから。

○川村成二委員長

続けてください。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

すみません。今、調べますので、暫時休憩お願いします。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前 11 時 13 分

再 開 午前 11 時 18 分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

今、調べておりますので、後ほど答弁させていただきます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

あと、委託ですが、英語指導助手5名も委託になっています。委託先はどのようなところですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

株式会社リンク・インタラックでございまして、外国人の英語の先生を派遣していただく会社でございまして。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

派遣会社ということですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

はい。そうでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

会社の実績というのは、これはずっと当市は随意契約でやっているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成29年度までは、随契を行ってございました。平成30年度につきましては、見積もりをとりまして、他社のほうが安いということで、ほかの会社になってございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今、平成30年度違うと言ったのですが、つまりこの5名については、契約については随意契約ではなくて指名競争入札みたいな形にしているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成29年度までは、随契で同じ業者をお願いをしてございましたが、平成30年度につきましては、見積もりをとりまして、他社が安かったという結果になってございます。同じ随契でございまして。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成30年度に見積もり合わせしたということは、平成28年、平成29年は見積もり合わせしないで

随契やっていたのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

1 者の特命随契でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ということは、何か問題があったということですか。つまり、今までは特命でやっていらっしゃったわけですよ、5名で。継続性が今度切れますよね。平成29年度決算だからそこまでいかないかもしれないですけども、一応平成29年度の決算の確認として、やっぱり見積もり合わせをしなきゃいけないとなったのでしょうか。指標のところ、どこに書いていますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成29年度においては、特に問題があったというわけではございません。けれども、ずっと同じ会社というの、もしかしたら他社のほうが安いかもしれないということで、平成30年度につきましては、見積もりをとった次第でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

いや、理由にならないよ。今、事務事業評価シート228ページのところにそういうことが総括されているかと言っています。見積もり合わせをしたほうがいいという中身があるのですか。特に問題があったということがあるとか、その必要性がここに書いてありますかと言っているのですよ。その説明してもらわないとわからないです。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前11時22分

再 開 午前11時22分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

事務事業評価シート228ページ、中ほどになります。効率性評価で、事業費、人件費の削減をしていくことで事業費の削減余地があるということで、今までの1者ではなく金額の競争をするため、見積もりをとってございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

効率性評価のところですね。つまり、事業費の削減余地があると。これがいわゆる人件費の削減余地、成果を低下させずコストを削減できるという項目から、平成 29 年度の総括として、平成 30 年は見積もり合わせを 3 者としたということなのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

そのとおりでございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

田谷委員。

○田谷文子委員

今の英語の授業のことでお伺いします。小学校に 2 名で、8 校に配置しているという考えでおられるようですけれども、これは派遣された方が、何年生からどういう授業内容をなさっているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

小学生は基本的に 5 年生以上で、5 年生、6 年生を対象に行っております。1 クラス週 1 時間程度行っております。

○川村成二委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

次に、内容はどういうことを 5 年生、6 年生に教えているのでしょうか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

特別なテキストを使ったというわけではなくて、英語の日常的な会話といったものを指導していただいております。

○川村成二委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

これから英語の授業が必修になるので、低学年にも先生をつけていくようなお考えはございますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成 32 年度から英語が小学校で義務化ということで、茨城県については、平成 31 年度から義務化を実施するというところでございます。低学年も対象としたことで、現在進めております。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

事務事業評価シート 231 ページの中学校部活活動支援事業で、負担金、補助及び交付金が、前年度と比べ大幅にふえましたけれども、これは全国大会、関東大会に対する出場補助だと思いますけれども、平成 28 年度と平成 29 年度の内訳はわかりますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

ふえている要因としては、全国大会、それから関東大会への出場がふえているということで、それらの試合等に行くために、バスの借上げがふえている状況です。数的には持ち合わせてございませんが、平成 29 年度につきましては、かなり霞ヶ浦中学校を筆頭に強かったということで補助がふえている状況でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今、資料がないだけですよね、もちろんね。ですから、どのくらいの内訳が、どうなっているか後でお示ししてください。わからないのでは話にならない。次、尽きる予算が 300 万円にしているわけですから。霞ヶ浦中学校が、いい成績をおさめて、全国大会、関東大会に行けるといことはすばらしいことだと思います。その内訳については、出してくれますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

はい。提出させていただきたいと思います。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

同じ 231 ページの部活動の補助について、父兄の負担というものも一部発生しているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

全国大会、関東大会の出場時の補助の対象といたしましては、宿泊費、それから交通費、参加費等が補助の対象となっております。保護者負担としましては、基本的にはゼロということです。あるとすれば、自分たちの飲み物といったものが、保護者負担となります。

以上です。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

部活動関係で、保護者の輸送関係に対する補助が、学校教育の中では一切ないと理解してよろしいですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

試合に出るためのバスの輸送は、教育委員会で補助をしてございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

学校の動きを見ていると、練習試合という形で出かけます。そういう練習試合に、どのぐらいのバスが使われていますか。あるいは、公式試合で、県南とか県、あるいは全国大会という場合に、どのぐらいの補助が出ているのかというリストはありますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

金額的なものでよろしいでしょうか。そういったものはございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

回数と金額ですね。それ、後で教えてください。

○川村成二委員長

資料で提出するからとか、きちんと立って発言してください。

設楽委員。

○設楽健夫委員

資料で提出してください。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

全国大会、関東大会の行き先ですとか、補助をどのぐらい出しているかまとめた一覧を出させていたいただきたいと思います。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 1 1 時 3 1 分

再 開 午前 1 1 時 3 3 分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

部活動の補助につきましては、保護者への負担はございません。あくまでも生徒が対象で、先ほど申しました宿泊費、それから参加費、交通費等が対象で、生徒のみの補助対象ということでございます。そちらのどちらに行ったか、金額がどれぐらいなのかということはつかんでおりますので、資料として提出をさせていただきたいと思います。

練習試合につきましては、補助は対象外でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

練習試合が、どのぐらい発生しているのかについては、把握していますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

把握はしてございません。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

事務事業評価シート 237 ページの小学校給食管理運営事業で、1,300 万円ぐらいマイナスになりました。委託料が減ったということになってはいますが、6 調理場は同じですよね。委託契約先が変わったということですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成 28 年度、平成 29 年度を比較して、6 調理場変わっておりません。それから、委託先についても変更がございません。ただ、金額的に約 1,300 万円減っておりますのは、入札を実施いたしまして金額が大分下がったということでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

入札を実施したというのは指名競争入札ですか、一般競争入札ですか。委託料について、その資料はございますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

これは一般競争入札で、検査管財課で実施をしてございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

いや、別に検査管財課はいいよ。一般競争入札もいいです。わかりました。ですから、その資料は、どこを見ればいいですか。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前 11 時 36 分

再 開 午前 11 時 37 分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

給食調理業務委託、平成 29 年度に入札をしておりました、2 者応札がございました。日京クリエイトが、予定価格 1 億 1592 万 9000 円に対しまして、9274 万 1000 円で落札をしております。

以上です。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ついでに、もう 1 者はどこですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

株式会社東京天竜です。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午前 11 時 38 分

再 開 午前 11 時 40 分

○川村成二委員長

再開いたします。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

給食の管理、運営委託につきましては、小学校分と中学校分を合わせて入札を行っております。内訳については、あわせて資料を提出させていただきたいと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それでは、平成 28 年度分もわかりますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

平成 28 年度につきましては、入札を行っておりません。こちら 1 社の特命随契で行ってまいりました。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

特命随契は、平成 28 年度決算のときに質問しなくてはいけなかったのだらうけれども、平成 29 年度は、特命随契から 2 者にした。明らかに特命随契をやめて、少なくとも 2 者にすることによって大きく変わったのですよね。これは何かあったのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

特に問題はございませんでしたが、先ほど申し上げましたものと同様でございますが、1者では適正な価格かどうかというのわかりませんので、入札を実施した状況でございます。

○川村成二委員長

事務事業評価シートのところを踏まえて、そういうことをやったと説明できませんか。ただこういうことでしたと説明されても、この資料と変わらないのです。申しわけないですけれども、そういうわかりやすい説明をしてください。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

事務事業評価シート 238 ページの中ほど、効率性評価の事業費、人件費の削減余地で、事業費の削減余地があるということで、今までは1者ということでしたが、コストが下がるのではないか、事業費の削減ができるのではないかということで入札を行っております。中学校も同様に、事務事業評価シート 258 ページになりますが、同じく効率性評価のところを踏まえまして、入札を実施してございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

この黒くなっている箇所がポイントですね。事業費の削減余地がある。一方で、この黒四角で、人件費の削減余地がないとは、どういう意味ですか。どういう整合性があるのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

給食業務委託につきましては、調理員の方の人件費がほぼ委託の内容となっております。人件費一人一人の削減というのは難しいですけれども、その会社の管理費といいますか、そちらは削減の余地があるのではないかと示させていただきました。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

当市が、例えば臨時職という人件費の概念ではなくて、その委託先の人件費を示しているということですね。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

そうでございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

設楽委員。

○設楽健夫委員

事務事業評価シート 225 ページのモデル授業等研修の実施で、右の成果の向上余地を見ると、研修等の内容を検討することでさらなる成果向上の余地があると書かれていますけれども、これは何を基準にして、こういう評価をしているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

教職員の資質を向上することによって、生徒への指導力が上がって、学力が上がるのではないかと
いうことで示させていただいております。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

その学力が上がる指標をお伺いします。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

一人一人の学力向上はすぐに出るものではないと思います。どれだけ上がったかとお示しはできませんが、数値としてあらわすのは難しいと思います。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

左の平成 29 年度事業内容の中のモデル授業等の研修を実施で、国語、算数と書いてあります。なぜ
こういうふうに指定しているのかわかりますけれども、実際は学力テストとか具体的な指標があるの
ではないですか。すぐわからないけれども、実施しているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

教育指導室の岡野室長のほうからお答えさせていただきたいと思います。

○川村成二委員長

教育指導室長 岡野浩則君。

○教育指導室長（岡野浩則君）

ただいまのご質問のモデル授業等の研修で国語、算数を指定している理由についてですが、まずそ
の点につきましては、授業の向上というものを捉えたときに、国語と算数が、学力における読み書
き、そろばん、計算で、基本ということです。まず、国語と算数の授業で外部講師をお招きして、模
範授業を教職員対象で行っております。

指標に関しては、実際、年度末に行われる学力診断のためのテスト及び国で行っている全国学習状
況学力調査に関してのものを判断材料の一つとしてはおりますが、一概にそれは学力の一面を捉えて
いるものですので、ここではお示しはできないでおります。

以上でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

指標の中で、どういう表記の仕方をするのかについては、検討する余地があると思います。何らかの形で、その研修がどういう効果が出ているのかという指標を出していく必要があると思うのですが、いかがですか。

○川村成二委員長

教育指導室長 岡野浩則君。

○教育指導室長（岡野浩則君）

実際、教員対象の研修を行った後にアンケート等は行ってはおりますが、指標の一つとして捉えていたわけではないので、ご指摘の点を踏まえまして検討していきたいと思えます。

以上でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

事務事業評価シート 233 ページ、学校統合推進事業（政策）ですが、統合校における児童への生徒指導及び学校の円滑な運営を図るため、非常勤講師等が霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校へ1名配置するという形で入っています。右の指標のところ、統廃合後の円滑な学校運営を維持している小学校と書いてあって、平成29年2校、実績で2校と書き方になっていました。この円滑な学校運営を維持している小学校という意味では、やはり気になる数値という意味では、不登校の児童数が、霞ヶ浦中学校でふえている、あるいは特別教室の子どもたちの参加人数、そこから普通学級に戻っていく子どもたちの参加人数というところをきちっと見て、そして、学校経営が統合後も運営されているのかについて見ていく必要があると思うのですが、そういう指標は捉えていますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

233 ページの事務事業評価シートにつきましては、学校の統合ということで、霞ヶ浦地区の霞ヶ浦南小学校と霞ヶ浦北小学校の統合した学校を示してございます。TT非常勤講師も2名、霞ヶ浦南小学校と霞ヶ浦北小学校へ1名ずつ配置をし、成果指標も2校となっておりますので、全体の指標については、こちらでは掲載してございません。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

来栖委員。

○来栖丈治委員

決算書 200 ページになります。

先ほど小学校の部分でスクールバスのことをお聞きしたのですが、概略は理解しているのですが、今年度でへき地の国庫補助金がなくなるということで、今後継続していくに当たって、いわゆる基金の取り崩しに頼っていくのか、あるいは保護者負担も求めていくのか。そういった方向として、平成29年度の決算ですけれども、平成30年度までですよね。来年検討が始めているのかどうなのか、その辺お聞かせいただきたいと思えます。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

中学校につきましては、平成30年度で5年目ということで補助がなくなります。その後の運行としましては、スクールバスの運行自体は継続をしていくという方向で、個人負担をいただくかどうか、その辺につきましては検討中ではございます。バスを利用している保護者の方に現在アンケートをとっていただき、今後の運行についてのアンケートを実施しておりまして、それが挙がってきている段階でございます。ただいま集計をしている途中でございますが、その辺を踏まえて今後検討していきたいと思っております。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

田谷委員。

○田谷文子委員

戻ってしまって申しわけない。225ページの学力テストのことでちょっとお伺いしたいのですけれども、市外の学校ごとの向上段階とかそういう水準は捉えておられますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

各学校の数字は捉えておりますが、こちらは非公開ということで、公開はしていない状況です。教育指導室では把握をしてございます。

○川村成二委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

非公開ということですが、そうするとその指導はどのようにしているのですか、今後向上するために、より向上していくためにどういう指導をしているのですか。各学校の指導要領ですね。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

では、岡野室長のほうからお答えをさせていただきたいと思っております。

○川村成二委員長

教育指導室長 岡野浩則君。

○教育指導室長（岡野浩則君）

お答えいたします。

県の学力診断テスト及び全国学習学力状況調査に関しましても、児童、生徒の実態、学力の状況、学習の状況を把握するために行っております。その上で、各学校に弱いところとか、あるいは伸びているところを教育指導室として把握した上で、各学校の計画訪問、指導室訪問等を通年を通して行っておりますので、訪問のたびに指導、助言を行っております。

○川村成二委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

やはり非公開ということですが、これをきっちり向上するために、市内の学校には、公開にしてもいいのではないかと思います。そして、きちんとどこが弱いかは今お答えいただきましたけれども、やはり競争社会ですから、もっと学力が向上するための練り方をしてほしいと思いますけれども、どうなのでしょう。

○川村成二委員長

教育指導室長 岡野浩則君。

○教育指導室長（岡野浩則君）

先ほども申し上げたとおり、児童、生徒の一人一人の実態を踏まえた上での指導に生かすために行っているテストですので、例えばAという小学校が何点だ、Bという小学校が何点だというようなものは、点数が一人歩きして、逆の意味で教育的ではないと判断しております。各学校に実態等は細かく指導を行っておりますので、現在のところ、公開とか公表することは念頭にはございません。

以上です。

○川村成二委員長

田谷委員。

○田谷文子委員

前年度、秋田県へ視察研修に行きました。やはり、秋田県は全国一を目指して、そして全校が取り組んでいるということで、教育委員会が主導、指揮していらっしゃるよう私は見学してきました。やはり、当市も子どもたちの学力の向上のために、学校教育課がもっとレベルアップをするために、有意義な助言をするような方向性に持っていけたらと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○川村成二委員長

要望でいいですか。

平成 29 年度決算です。

田谷委員。

○田谷文子委員

わかりました。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

設楽委員。

○設楽健夫委員

先ほどの質問で、回答の中に不登校特別教室の統廃合、円滑な学校運営を維持していく小学校という 234 ページの指標の中に載せる必要があると思いますけれども、この不登校あるいは特別教室、これは小学校単位で整理されている資料はあるのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

学校ごとの生徒の数はございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

そのことによって、これは統合の小学校でのさまざまな事件ではないですけれども、一番困ったと、教育内容で話題になったところがございます。その推移という意味での指標という意味では、そういうところをきちんとやはり見て、ここの評価の中でも評価を出して、そしてその中で左のページの233ページではないですけれども、教師に対する指導も含めて、ここの評価を出すようにしていく必要があると思うのですが、いかがですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

その辺を踏まえまして、今後そうしていきたいと考えております。

○川村成二委員長

お諮りいたします。

これで、昼食休憩に入りたいと思いますが、ご異議がありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○川村成二委員長

ご異議なしと認めます。

それでは、午後1時15分より再開いたします。

休 憩 午前11時59分

再 開 午後 1時12分

○川村成二委員長

再開いたします。

質疑等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

事務事業評価シートの241ページの蔵書管理システムの運用について、平成29年度も運用されていますが、このシステムの詳細とこれに係る金額を教えてくださいませんか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

まず、システムですけれども、各学校のシステム運用で、図書の貸し出し、それから返ってきた本の整理等、バーコードで本を読み込んで誰がどういった本を借りているか把握するためのシステムとなっております。

金額ですが、手数料として1校当たり5,000円です。毎年子どもたちの名簿を登録するのにかかる手数料として、1校当たり5,000円ほどで業者に委託をしております。その金額が、1校当たり5,000円です。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

わかりました。

4校ということですが、各学校連携をして、新しいネットワークシステムを構築しているか
と思い、質問させていただきました。あとはよくわかりました。

次に、各学校の管理システムの責任者は、どなたがなさっているのですか、

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

蔵書管理システム責任者というのは、特段設けてごいません。けれども、学校に図書館司書が配
置されておりますので、その方が管理するということになるかと思ひます。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

あともう1点です。事務事業評価シート247ページです。先ほどの説明の中で、学校相談員とい
った警察官OBの方が4名配置をされているということでしたが、改めて霞ヶ浦北小学校に配置をして
いる理由と、あと月曜日から金曜日までの配置の状況等、わかれば教えてください。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

警察官OBの方を4名配置ということで、霞ヶ浦北小学校に配置をしております。理由としまし
ては、平成28年度に霞ヶ浦北小学校でいじめ問題が発生をしまして、その支援をいただくために4名と
いうことで、実際には2人1組で、日がわりに設置してございます。一週間当たり1日7時間程度で、
毎日来ていただいております。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

4名のうち、2人1組で1日7時間程度、月曜から金曜までということですが、その相談員
たちは、どういった内容のお仕事をされているか、教えてください。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

問題行動がある生徒の授業中にクラスに入っていて、その子の注視をするといひますか、何
か問題が起こる前に声をかけたり、暴れるようなことがあれば、少し表に出してなだめるといひた
役割をしていただいております。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

今のところ、平成28年にいじめがあったということで、霞ヶ浦北小学校に配置をしているとい
うことですが、もし何か問題があれば、中学校やほかの小学校にも、この相談員たちは、対応に当
たるという認識でいいですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

現在、下稲吉中学校と霞ヶ浦中学校に、やはり設置をしているのですが、ほかの学校でそういった問題があれば、相談して配置するような考えはございます。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

ちなみに下稲吉中学校、霞ヶ浦中学校には、何人配置をしているか、教えていただけますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

2校で4名、2人1組で日がわりになります。やはり、1日7時間程度です。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

設楽委員。

○設楽健夫委員

事務事業評価シート 239 ページ。

子どもを守る母の会の補助金で、平成 29 年で 7,000 円と出ています。この子どもを守る母の会の設置状況について、教えていただけますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

下稲吉地区の保護者の方が中心となっております、主に母親が構成員となっております。非行防止ということで、例えば、駅前で非行防止のチラシであるといったものを配ったり、あとは巡回をしたりといった事業をしている団体でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

どのぐらいの構成人数になっておりますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

正式な人数はわかりませんが、恐らく 30 名から 40 名ぐらいかと思います。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

設楽委員。

○設楽健夫委員

事務事業評価シートの 245 ページ。

児童用のパソコンで設置台数が決まっています。この霞ヶ浦南小学校が 43 台、霞ヶ浦北小学校が 42 台、志筑小学校 27 台というように台数が設定されています。この台数の設定基準は、どういうところに置いているのですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

各学校で台数が違いますが、1クラス分がコンピューター室に行って授業が行える台数プラス余剰分の台数も含めて、各学校の1クラスの人数プラスアルファということで設置をしております。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○川村成二委員長

ないようですので、学校教育課に対する質疑を終結いたします。

暫時休憩します。

休 憩 午後 1時20分

再 開 午後 1時21分

○川村成二委員長

再開いたします。

続いて、説明を求めます。

なお、説明は簡潔にお願いいたします。

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

それでは、生涯学習課からは、社会教育担当、文化振興担当、図書館、中学校区ごとの公民館並びに歴史博物館についてご説明させていただきます。

まずは歳入について、決算書に基づいて説明させていただきます。

決算書21ページをお開きください。21、22ページからです。

13款1項6目教育使用料でございます。1節公民館使用料でございます。こちらは、霞ヶ浦、千代田の2つの公民館の使用料となります。予算に対する収入率は154.92%、対前年比208.87%の実績となっております。公民館使用料に対しましては、規則等の改正がございまして、徴収機会がふえたことにより増額したものと見ております。

同じく、2節歴史博物館使用料でございます。収入率が132.61%、また前年度の対比が123.05%の実績となっております。こちらは、企画展や特別展の開催の日数がふえた関係で増額したものでございます。

続きまして、決算書31ページをお開きください。

14款2項5目4節社会教育費補助金でございます。国宝重要文化財等保存整備費補助金98万6000円でございます。開発行為や住宅建設等に伴いまして、埋蔵文化財の所在地の有無の申請に対しまして、試掘調査並びに調査報告書の作成に対する国庫補助金でございます。補助率は2分の1、収入率が64.70%です。前年対比82.17%となっております。こちらの収入率等が低率となった理由に関しましては、申請件数が見込みに対して少なかったということでございます。

続きまして、決算書39ページをお開きください。

15款2項7目1節社会教育補助金でございます。放課後子ども教室推進事業、土曜日の教育支援体制等構築事業、青少年相談員店舗訪問事業に対する補助金でございます。補助率は放課後と土曜日に

関する事業に関しましては3分の2、店舗訪問に関しましては前年度から継続店舗に関しましては1店舗当たり460円、新規の店舗に関して610円となっております。収入率に関しましては、合計で36.03%でございます。対前年比でいいますと、208.30%という形でございます。収入率が低かった理由といたしましては、昨年度から委託を開始しました運武館寺子屋の土曜日の学習支援事業でございますが、これの開始時期が7月だった関係で低率となったということでございます。

続きまして、決算書53ページをお願いいたします。

20款5項7目1節雑入でございます。主な収入に対しましては、54ページの雑入の上段にございます教室、講座及び大会参加料162万9430円に対しまして、このうち生涯学習課所管の収入が120万6400円でございます。

以上が、歳入についてのご説明でございます。

続いて、歳出についてご説明させていただきます。

事務事業評価シートの順に、説明させていただきます。

まずこれに入る前に、決算書等の数字の差異がございます部分です。先ほど学校教育課でもあったかと思えますけれども、臨時職員の共済費等の部分に関しまして、総務課所管の関係で、そちらで決算書に載っている関係で、その差が出てございますことを申し添えます。

それでは、最初に、事務事業評価シート223ページをお願いいたします。決算書は85、86ページとなっております。

2款1項14目04番ひと創生事業（政策）でございます。この事業中、30歳の大同窓会プロジェクトに関する部分が、今年度地方創生・事業推進担当から生涯学習課に事務移管されましたことに伴いまして、当課で説明するものでございます。

決算書88ページ、上から2番目の部分です。主な支出につきましては、同窓会プロジェクトの業務委託46万4400円、事業全体での執行率は、99.91%となっております。

この事業に関しましては、昨年度までは、定住促進やインターンの推進を目的に、地方創生の観点から事業実施してまいりましたが、今年度からは、生涯学習課に所管替えされましたことで、事業の趣旨を地域の担い手の発掘・育成に主眼を置いたものにしてまいりたいと考えてございます。

続きまして、事務事業評価シート271ページでございます。決算書が205、206ページでございます。

10款4項1目03番生涯学習推進事業（政策）でございます。ライフステージに合わせ、目的、ターゲットを絞り、子ども大学、大人大学、高齢者大学といつでもどこでも誰でもということで、生涯学習の基本理念に基づきまして事業を展開してございます。

主な支出といたしましては、決算書206ページから208ページとなります。決算書208ページの一番上の段です。3つの大学にかかわる講師の謝礼34万6000円でございます。あとは、生涯学習推進計画策定に関する業務委託が321万8400円で、執行率が92.38%、対前年比に関しましては、今年度のみの推進計画策定の関係で479.62%と大幅増となっております。

続きまして、事務事業評価シート273ページでございます。決算書207、208ページでございます。

10款4項1目05番青少年育成事業（政策）でございます。青少年を健全に育成するため、学校、家庭、地域が一体となって青少年相談員、市の子ども会育成連合会、家庭教育学級、子育て広場、成人式などの各種事業を展開してございます。

主な支出といたしましては、家庭の教育力充実事業委託で118万6204円、子ども会育成連合会の補助金が79万円などがございます。執行率は95.94%、対前年費比率では47.43%と大幅減となっておりますが、これに関しましては、沖縄子ども探検事業が廃止になったことによるものでございます。

続きまして、事務事業評価シート 275 ページでございます。決算書 207、208 ページでございます。

10 款 4 項 1 目 07 番女性団体行政事業（政策）でございます。女性の自発的な活動をとおり、自己資質の向上と地域社会の発展のため、市内の 2 つの団体に補助を交付してございます。男女共同参画の観点からも、地域の担い手になっていただくよう期待しておる団体でございます。補助額は 70 万円ということで、執行率、対前年比とも 100%で、前年同額となっております。

続きまして、事務事業評価シート 277 ページでございます。決算書 207、208 ページでございます。

10 款 4 項 1 目 09 番学校家庭地域の連携協力推進事業（政策）でございます。地域の子どもは地域で育てるという基本理念に基づきまして、放課後子ども教室推進業務といたしまして、下稲吉中学校での放課後学習支援と下稲吉東小学校での放課後の体験教室ということを下稲吉中学校区三校連支援ボランティアに委託し、実施してございます。また、土曜日の教育支援体制等構築業務に対しましては、同じく下稲吉中学校区三校連支援ボランティアに、いなよし学習広場として、委託しております。

また、霞ヶ浦中地区に関しましては、先ほど歳入でもご説明しましたとおり、運武館に委託し、寺子屋として事業を実施しております。

主な支出といたしましては、それぞれの委託費で放課後子ども教室推進業務が 9 万 4914 円、土曜日の教育支援体制等構築業務が 39 万 6358 円でございます。執行率に関しましては 68.39%、対前年比 253.89%となっております。執行率が低かった主な理由といたしましては、先ほどの歳入同様、運武館での支援事業が 7 月開校となったことが一番大きい要因かと思われま。

続きまして、事務事業評価シート 279 ページでございます。決算書 207、208 ページでございます。

10 款 4 項 1 目 10 番生涯学習市民協働事業（政策）でございます。市民有志の方で構成する実行委員会を立ち上げ、みずから企画・運営する生涯学習イベント、ふれあい生涯学習フェア開催のための事業費でございます。134 の参加団体、約 4,700 名の来場者ということで、生涯学習全体といたしましても最大のイベントとなっております。

支出項目といたしましては、実行委員会への委託費 120 万円でございます。執行率、対前年比率とも 100%となっております。

続きまして、事務事業評価シート 281 ページでございます。決算書 209、210 ページでございます。

10 款 4 項 1 目 11 番生涯学習情報提供事業（政策）でございます。生涯学習課で取り組むさまざまな事業の情報をできる限り速やかに提供して、生涯学習ファンの開拓、そして定着のために、平成 27 年度から実施している事業でございます。生涯学習情報誌、マナビィガイドの発行と生涯学習課のホームページの随時更新及び生涯学習人材バンクの登録、紹介などの業務を主なものとしてございます。

主な支出といたしましては、マナビィガイドの印刷代が 35 万 6400 円で、執行率が 86%、対前年比 111.85%となっております。また、今年度からはホームページに加え、SNS という方法でフェイスブックやツイッターを開設いたしまして、若年層をさらにターゲットにしまして、さらなる情報の迅速性と利便性に取り組んでございます。

続きまして、事務事業評価シート 283 ページでございます。決算書 213、214 ページでございます。

10 款 4 項 3 目 07 番文化芸術振興事業（政策）でございます。文化協会及び協会加盟団体の活動を健康づくりや仲間づくり、生きがいくくりなどの観点から、発表の場を提供したり、その事務局のお手伝いをする支援業務を行っております。現在、文化協会加盟団体の会員数等々が減少傾向にあることから、その対策といたしまして、新規会員募集のための各種団体が主催いたします自主講座の支援に積極的に取り組んでございます。

主な支出といたしましては、文化協会への補助金 100 万円で、執行率が 99.78%、対前年比 100.48%

となっております。

続きまして、事務事業評価シート 285 ページでございます。決算書 215、216 ページでございます。

10 款 4 項 4 目 03 番図書館運営事業（政策）でございます。生涯学習の中核施設といたしまして、市民の方が心豊かに生活を送れるように、図書館を円滑に運営するための事業でございます。日常の図書の貸し出し、整理、読み聞かせグループや読書会の活動支援、図書館の適正管理運営に努めてございます。また、市民の方が借りやすくなるよう、市民ボランティアの皆さんの手をおかりしまして定期的に蔵書点検の作業を行ってございます。

主な支出といたしましては、貸し出し業務や図書整理などを行う臨時職員の賃金 482 万 941 円でございます。執行率は 94.00%、対前年比 101.79%となっております。ここに対して、冒頭お伝えしました共済費の部分が総務課からの支出となりますので、決算書と事務事業評価シート等の差異がございます。

続きまして、事務事業評価シート 287 ページでございます。決算書 215、216 ページでございます。

10 款 4 項 4 目 05 番蔵書整備事業（政策）でございます。図書館の使命であります住民ニーズに応じた図書、雑誌、視聴覚資料を計画的に購入、整備してございます。また、借りやすい図書館を目指し、不要図書のリサイクルにも積極的に取り組んでおり、ふれあい生涯学習フェアの際に、不要図書を無料配布したり、さらには、図書館以外の働く女性の家や下稲吉郵便局にミニ文庫も設置しまして、貸し出しを行ってございます。

主な支出といたしましては、備品としての図書購入費 484 万 6264 円と決算書 217、218 ページの 1 番上の段の視聴覚資料の購入費 57 万 3921 円でございます。執行率は 99.98%、対前年比 99.28%となっております。

続きまして、事務事業評価シート 289 ページでございます。決算書 217、218 ページでございます。

10 款 4 項 4 目 07 番ブックスタート事業（政策）でございます。子育て支援の一環、そして新しい図書館ファンの開拓ということで、保健センターで行っております 4 カ月児健診の際に、民生委員や読書ボランティアの皆さんの協力を得まして、その会場で赤ちゃんと保護者に絵本の配布と読み聞かせを行っている事業でございます。

主な支出といたしましては、絵本の購入費 33 万 3720 円、執行率が 98.62%、対前年比 98.62%となっております。

続きまして、事務事業評価シート 291 ページでございます。それとあわせて 295 ページ、299 ページです。事務事業評価シートは中学校区ごとに分けておりますが、決算書に関しましては、211 ページでございます。

10 款 4 項 2 目 16 番公民館コミュニティ活動事業（政策）として一括で計上していることで、トータルして説明させていただきます。事業の内容といたしましては、中学校区ごとに設置されました 3 つの地区公民館において、地区の財産や課題をテーマに、地区住民のリーダーでありますコミュニティ推進委員が中心となりまして、自らが企画・運営する公民館コミュニティ事業を市民協働の観点で展開しているものでございます。千代田中地区、下稲吉中地区とも推進員の方々の積極的な取り組みによりまして、各種事業で参加者がふえ、成果が上がってきているところでございます。

主な支出といたしましては、移動講座ハイキングなどのバスの借上料 249 万 850 円、また、下稲吉中地区公民館のみんなの夏祭りの際のイベント機材借上料 86 万 5448 円などでございます。執行率が 84.52%、対前年比率 109.74%となっております。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

早くてよくわからないな。今の、もう一回言ってくれますか。

○川村成二委員長

どの辺からでいいですか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今、夏祭りの話しをしたでしょう。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

夏祭りの部分が、決算書でいいますと 212 ページ中段ほど、14 節イベント機材借上料……

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これ、事務事業評価シート 295 ページですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

それは、下稲吉中地区公民館なので 299 ページです。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

3つにわたっているから、これではなくてページが3つにわたっているでしょう。これを説明してもらわないとよくわからない。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

車の借上料でいうなら、それぞれ3つの中に入れてございまして、単体で説明できないので、この数字だけでは分かりません。

大変申しわけございません。事務事業評価シートが3枚で決算書が1枚ということは、トータルの数字で決算となっている関係で、事務事業評価シートを単体で数字が見られないので、申しわけございません。

それでは、次にいってよろしいですか。

続きまして、事務事業評価シート 293 ページでございまして。決算書の 211、212 ページでございまして。

10 款 4 項 2 目 17 番 霞ヶ浦中地区公民館講座事業（政策）でございまして。地区公民館ごとで開設いたします公民館講座の事業で、生きがいつくり、仲間づくり、健康づくりを目的に実施しておりますのでございまして。文化協会の加盟団体が、先ほども申しましたが減少傾向にあるということで、そのサークル化をしやすいような講座を中心に計画・開講しているものでございまして。なお、各地区の施設

の会場に開講しておりますが、市民の方であれば居住区域に限らず各中地区の公民館講座、どこでも受講ができるというものになってございます。

主な支出といたしましては、各種講座、教室の講師謝礼 53 万 9500 円、執行率が 73.96%、対前年比 120.59%となつてございます。

続きまして、事務事業評価シート 297 ページでございます。決算書が 211、212 ページでございます。

10 款 4 項 2 目 18 番千代田中地区公民館講座事業（政策）でございます。事業の内容に関しましては、霞ヶ浦地区公民館同様のものがございます。

主な支出といたしましては、各種講座、教室の講師謝礼 37 万 8500 円、執行率が 80.36%、対前年比 98.97%となつてございます。

続きまして、事務事業評価シート 301 ページでございます。決算書 211、212 ページでございます。

10 款 4 項 2 目 19 番下稻吉中地区公民館講座事業（政策）でございます。事業内容は先ほどと同様でございます。

主な支出といたしましては、各種講座、教室の講師謝礼 35 万 8500 円で、執行率が 65.86%、対前年比に関しますと 65.20%となつてございます。低位な理由に関しましては、講座数の参加者が少なかった関係で、開設の講座数が減少したことによるものがございます。

続きまして、事務事業評価シートはございませんが、決算書 213、214 ページをお開きください。

10 款 4 項 2 目 22 番霞ヶ浦公民館管理事業（政策）でございます。こちらは、あじさい館にあります霞ヶ浦公民館の改修に関する事業でございます。昨年度、補正予算で対応した関係で事務事業評価シートがございませんが、米軍の再編関連訓練移転等の交付を活用しまして実施した事業でございます。

主な支出といたしましては、公民館の研修室の防音工事を実施いたしました関係で、そちらの工事設計委託に 129 万 6000 円、また、工事本体に 529 万 2000 円となつてございます。また、そのほかに、視聴覚室の機器更新ということで、霞ヶ浦地区公民館が 20 年を経過しており、その視聴覚機材の更新費用に 988 万 2000 円となつてございます。執行率が 95.22%でございます。

続きまして、事務事業評価シート 303 ページでございます。決算書 213、214 ページでございます。

10 款 4 項 3 目 03 番文化財保護事業（政策）でございます。指定文化財及び地上の文化財全般の保護、伝承、活用に関する各種事業を実施しております。平成 27 年度から実施しております文化財の一斉公開も本年度もまた実施するというので、こちらに関しまして市民学芸員や多くのボランティアの協力、そして地区公民館の歩く会や歩崎ジオツアーなどと共催しまして、より盛り上げていけるイベントにしたいと考えてございます。

主な支出といたしましては、指定文化財の管理、公開にかかわる謝礼 55 万 8000 円などで、執行率が 91.75%で、対前年比に関しましては 30.53%と下がったわけでございますが、こちらに関しましては、昨年度実施いたしました県指定文化財、木村家住宅の改修工事が終了した関係で、今年度は大きく比率が下がったものがございます。

続きまして、事務事業評価シート 305 ページでございます。決算書 215、216 ページでございます。

10 款 4 項 3 目 09 番帆引き船保存活用対策事業（政策）でございます。本市のシンボル、帆引き船を後世に伝承していくため、帆引き船関係者の方や市民の有志の方で設立されました霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会と市民協働の関係で帆引き船操業者の後継者育成、また県指定、国指定の無形民俗文化財へ向けた調査研究、そして、その他の各種普及活動に取り組んでいるものがございます。

また、今年 3 月には帆引き網漁の技術が記録作成等の措置を講ずるべき無形の民族文化財に文化庁から選択されましたことから、今後は県指定、国指定を目指し、調査研究を進めていくものござい

ます。

主な支出といたしましては、帆引き船保存会への補助金 108 万 487 円、執行率は 68.81%となっております。対前年比数 24.42%、かなり低位となっております。執行率が低かった理由といたしましては、世界湖沼会議の関係で同種の補助金が県のほうから出た関係で、保存会で不用額が出たことによります。並びに対前年率が低かった理由につきましては、昨年度実施いたしました帆引き船のデジタル記録保存業務が終了した関係で、比率に関しては大きく下がっております。

続きまして、事務事業評価シートの 307 ページでございます。決算書 219、220 ページでございます。

10 款 4 項 5 目 03 番歴史博物館管理運営事業（政策）でございます。市の歴史文化に関する資料の収集、整理、保存、調査研究及びその公開に要する経費並びに歴史博物館の施設管理に要する費用を支出しているものでございます。平成 29 年 1 月からは歴史博物館ということで、本市の偉人や歴史的事柄にスポットを当てた特別展や企画展に付随する講演会等を催しまして、出版物の発行、市民学芸員の皆様の協力をいただきながら、さまざまなふるさと教育事業を推進しているものでございます。

主な支出といたしましては、旧ビジターセンターの駐車場の舗装工事に関する設計委託 158 万 7600 円と舗装工事費が 798 万 1200 円でございます。執行率が 93.01%、舗装工事等の関係で対前年比率が 312.70%と大きく増加しております。

続きまして、事務事業評価シート 309 ページでございます。決算書 219、220 ページでございます。

10 款 4 項 5 目 05 番ジオパーク推進事業（政策）でございます。平成 29 年度からの事業でございます。筑波山地域ジオパークの周知、啓発、活用を図るための事業でございます。ジオパークの情報となる場所、ジオサイトを指定いたしまして、多くの方が将来にわたって地域の魅力を知って利用できるよう、今後も行い、さらには観光事業と連携いたしまして地域を元気にするという事で推進してまいりたいと考えております。

主な支出といたしましては、周知看板の設置工事に 126 万 3600 円となっております。執行率が 95.34%でございます。

以上が、生涯学習課所管の歳入歳出決算のご説明でございます。

○川村成二委員長

以上で、説明が終わりました。

それでは、生涯学習課に対する質疑等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。来栖委員。

○来栖丈治委員

文化協会の関係団体が減少しているという表現があって、公民館事業と協力し合って同好会的なグループをつくるための講座に積極的に取り組んでいるという話だったと思いますが、団体数の減少、構成員の減少、あるいは両方なのか、その辺をちょっと確認します。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

文化協会の今の加盟団体数並びに会員の状況についてご説明いたします。

平成 28 年度の総会時点では 45 団体、971 名と。

〔「これ、載っていますよね」と呼ぶ者あり〕

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

それには、細かな数字は載っておらず、増減しか載ってないので、数値をご説明します。

事務事業評価シート 284 ページです。

増減が評価指標ということで、目標にしている関係で、実数で説明させていただいています。

平成 28 年度の総会時点で、45 団体、971 人だったものですが、平成 29 年度の総会時点で、43 団体、961 人ということで 2 団体、10 人減少した状況でありました。平成 30 年度の総会は 5 月ですが、その時点での数字で申し上げますと、団体数は 2 増 2 減ということで 43 団体と同じだったわけですが、会員の数が 1,019 人で、58 人プラスとなりました。そちらの数字が事務事業評価シート 284 ページの文化協会の成果指標のプラス 58 人の数字となっている状況でございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

はい、わかりました。

講座をやって、同好会的に組織化をやっていく方向で、頑張ってくださいと思います。

次に、決算書 215 ページの図書館費ですが、私が勉強不足でちょっと忘れてしまったので、21 万円の補正予算を行っておりますが、不用額全体で 84 万円あるという状況です。

この補正予算の中身を教えてくださいませんか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

すみません。暫時休憩をお願いします。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 2 時 0 0 分

再 開 午後 2 時 0 2 分

○川村成二委員長

再開いたします。

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

今の補正予算 21 万円についてですが、図書館運営事業としての補正で実施したものはございません。01 番職員当人件費等に係る、特に臨時職員の部分に関するものと思われま。再度調査して報告させていただきます。

○川村成二委員長

ほかにございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これは 21 日提出した教育委員会事務局生涯学習課の資料がありますよね。

今、説明していた事業は、歴史博物館の部分とあじさい館の部分ですか。

課長に質問するのには、資料の中の何と何を質問すればいいかと思ったので、21 日提出分の資料の中で、該当する一覧表の説明をしてもらえますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

提出資料について、当課が所管する部分について、ご説明させていただきます。

提出資料の2ページ、歴史博物館利用状況、その下の欄、富士見塚古墳公園利用状況。続いて3ページ、あじさい館利用状況中教育委員会部分、公民館、図書館が当課の所管、並びに4ページ、千代田公民館利用状況及び図書館貸出状況ということで、千代田分館の貸し出し状況が当課の所管部分となります。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

どのように評価するかを述べていただけますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

それでは、2ページですが、歴史博物館の利用状況に関しまして、平成28年度から平成29年度にかけて、2,600人ぐらいふえているということで、こちらに関しましては、先ほども申しましたが、特別展、企画展等々、郷土資料館から歴史博物館に昇格したということで、そちらの事業を積極的に進めまして増加しました。また関連といたしまして、富士見塚古墳公園でも特別展を実施いたしましたので増加ができたということで、評価できる部分でございます。

また、3ページに関しまして、教育委員会所管、公民館の部分に関しまして、3万46人から、2万8096人と、2,000人近くの減に関しまして、先ほど収入でも述べたのですが、収入は増えたということで、徴収規則を改正した関係で収入は一部増えたのですが、その関係で、団体によっては免除団体にならないということで、公民館を使わずに、別の施設に移ってしまったような事例もあるので、減少したということがございます。

また、図書館に関しましては4,000人以上が減少したわけですが、具体的にこれといったところで減少した原因が不明でございます。

また、4ページですが、千代田公民館の貸出利用状況に関しまして、1万3931人から1万4376人で、合計は増加しました。こちらに関しまして、右から3番目の講堂に関しまして、大きく増加しています。こちらに関しまして、公民館講堂ではなくて、千代田講堂といたしまして、一般対象者も借りられるようにしたことで、貸し出しの範囲が広がり、増加したと考えてございます。

また、図書館に関しましては、やはり本館同様、利用者が400人ぐらい減っているわけですが、この辺の原因について、つかみかねる部分はございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

歴史博物館の利用状況は、基本的には料金は取ることになっているのですよね。それで、例えば29年度の収入のところ、歴史博物館使用料99万9930円となっているのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

はい。そのようなことでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ということは、この右側の計のところに、料金収入も入れておいたほうが、よろしいのではないですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

こちらに関しましては、昨年度同様、利用者数の報告とさせていただいたものでございます。その辺に関しましては、金額等を含めたご提示をするかどうか、再度検討させていただきます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ぜひ、収入も入れてもらいたいと思います。

それから、教育委員会、あじさい館の公民館使用料は増えたけれども、利用状況が減ったというのは、使用料の減免対象ではない方が別の施設を利用している可能性がある。利用料の対象がそういう意味では、対象外の人たちの参加が少なかったのではないかということをおっしゃいましたが、そういうデータはありますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そこまで実際に細かく、どの団体がどこまで使ったというような数値のたし上げはございませんが、一部、前年度、コンスタントに使っていた団体が、平成 29 年度に関しましては、使わなかったというような事案があったという確認はしてございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

確認しているということは、その団体は減免対象の団体でなかったということですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

はい、そのような形だったと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、図書館のマイナスについては、定かでないとおっしゃっていましたが、図書館の件で、以前夏休みの期間中は、夏休みに入ったら貸し出しを早めにするようなことを提案したことがあるのですが、貸し出しについて夏休みはどのようになっていますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

夏休みの対応に関しまして、図書館の中で通常の貸し出し冊数が5冊を、夏休みによる期間は10冊まで貸し出す事業を行っています。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

夏休みの分で、平成28年度と平成29年度の違いを言っていただけますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

夏休み期間内の利用状況ということですか。

そちらに関しては、ちょっと月ごとの数字が、今手元にないので、追って、取りまとめてご報告させていただきます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

前に話ししたときは、夏休みの貸し出しの期間の要望もありまして、今言った貸し出しがそうなのかどうか私もよくわかりませんが、夏休みの期間は、貸し出しの量を多くしているのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そうですね。貸し出し冊数は、通常ときは5冊までを10冊まで借りられる状況にしています。

合わせて、平成29年度に関しましては、期間を8月からであったものが、7月から10冊貸し出しできるように期間を延長した状況でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ということは、平成28年度より、私が話したのですよ。そういう要望があったので、夏休みが結構早く始まるのに、貸し出し期間の冊数だったのね。よく私も覚えてなかったのですが、5冊を10冊にできるということでは、夏休みを有効に、貸し出しする量を多くするという努力が必要ではないかということで、改善しますということだったのですよ。それが改善されたけれども、これは貸し出し数も減っていますよね。入館者数も減っているけれども、これはよくわからない。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

明確な原因というか、同じような事業の展開は、公立の図書、みんなが借りたい本ということで、その辺のニーズの把握も進めているわけですが、これに関しまして、調整が遅れてしまい、明確な原因はつかみかねている状況です。

○川村成二委員長

そのほかにございますか。

設楽委員。

○設楽健夫委員

先ほどの公民館の件で、ちょっと整理、確認したいですけれども、これは3中学校区といわれていますけれども、事務事業評価シート291ページは、霞ヶ浦中地区公民館と考えていいのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

はい。事務事業評価シート291ページに関しましては、霞ヶ浦中地区公民館でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

次の293ページも、霞ヶ浦地区公民館講座と表題が出ていますけれども、これも霞ヶ浦中地区公民館でよろしいですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

はい。事務事業評価シート293ページに関しましても、霞ヶ浦中地区公民館の事業でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

事務事業評価シート295ページの公民館コミュニティ活動事業と書かれていますけれども、これは特記事項の中で千代田中地区には新規事業であるため、その事業の定着化に向けてとありますけれども、この295ページは千代田中地区公民館と考えていいのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

事務事業評価シート295ページに関しましては、事務事業評価シート上段、担当課係等の段に、千代田中地区公民館と記載しております。こちらの担当を確認していただければと思います。299ページに関しましても同様です。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

この項目にある平成29年度事業内容に記載されている内容については、全て千代田中地区公民館と理解してよろしいですね。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そのような状況でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

事務事業評価シート 297 ページについても、平成 29 年度事業内容で、ふれあい生涯学習フェアなどですけれども、この項目については、担当課は千代田中地区公民館書かれています。けれども、これも全て千代田中地区公民館と考えてよろしいですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そのようなことでございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

ふれあい生涯学習フェアは、全市的な事業ではないのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

千代田中地区公民館で行いました講座事業で学んだものを、ふれあい生涯学習フェアの中で、成果を発表するという事です。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

次に、事務事業評価シート 299 ページについては、担当課が下稲吉中地区公民館と書かれていて、下稲吉中地区公民館の事業全てと考えてよろしいですね。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そのような状況でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

最後になります。ちょっとしつこいようですがけれども、事務事業評価シート 301 ページも全て下稲吉中地区公民館と理解してよろしいですね。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そのような状況でございます。

○川村成二委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

ここでも、やはりふれあい生涯学習フェアについて記載されていますけれども、下稲吉中地区の団体の発表の場として、このふれあい生涯学習フェアを活用していると理解してよろしいですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

ふれあい生涯学習フェア及び下稲吉中地区の夏祭りの際などもあるかと思います。

○川村成二委員長

ふれあい生涯学習フェア自体は一つの大きな行事として、各公民館が全部、そこに参加できるという行事ですよ。それを説明してください。

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

ふれあい生涯学習フェアに関しましては、市内全文化団体及び講座での学んだものを発表する機会を提供する場ということで実施しているもので、どこの地区に関しても参加できるというものです。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

決算書 54 ページの雑入の中で、教室、講座及び大会参加料がありますけれども、これは、前年度比はどうなっていますか。ちょっとその話が出てなかったようです。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

すみません、ちょっと今計算機を持ってないので、数字をご説明させていただきます。

前年対比、96.28%でございます。平成 28 年度は、125 万 3000 円でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 29 年度、162 万 9430 円のうち、幾らだったのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

生涯学習課所管分に関しましては、120 万 6400 円でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

この教室はどういうものですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

主な講座に関しましては、子ども大学、大人大学、高齢者大学及び霞ヶ浦、千代田、下稲吉中地区公民館の講座事業及び歴史博物館の講座事業でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

この参加については、伸びているのか、伸びてないのかはわかりませんが、こちらの事務事業評価シートで、どうやって見ればいいのか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

それでは、事務事業評価シート 271 ページの生涯学習推進事業（政策）に関しまして、次ページ、272 ページの成果指標になります。子ども大学の参加者数に関しましては、目標値が 240 人に対して 228 人で、また若者向けの催し、大人大学、大人クラブ等の延べ参加者に関しましては、目標が 150 人に対して 99 人で、この事業に関しては目標値に届かなかったと言えるかと思えます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

収入のほうは、若干減っているけれども、この参加者については、かなり減っているように見えます。これは説明できますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

先ほどの収入のときに説明しました講座の名称ですが、こちら指標が上がっているのが子ども大学と大人大学ということで、2つの指標だけの部分で、ここをふやしていきたいと目標を持っていますが、そのほかに高齢者大学であったり、各中地区公民館の講座も実施しております。そちらのほうでちょっと細かな数字は示しできませんが、大きく変化はなかったという形になるかと思えます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それが明確にわかるように、一覧表にさせていただきませんか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

整理して、お渡しさせていただきます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、各種講座と教室関係の講師謝礼が幾つもありますよね。この整理した資料はありますか。これはどれを見ればよろしいですか。それぞれ見るしかないのかな。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

予算書は、事業ごととなっておりますので、事業ごとの数字で見いただければと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

そういうことで、今、公民館のコミュニティ活動とか、霞ヶ浦中地区公民館、千代田中地区公民館、その他、それぞれ講座教室関係謝礼がありますよね。金額はそれぞれ載っています。

ですから、金額はわかります。ですから、回数というものもやっぱり整理したほうがいいと思います。それは整理してありますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

事業ごとには、あるものもございます。公民館の講座などは、回数と参加人員とを整理したものが、公民館の運営審議会等に提出している指標がございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それは、今網羅されていますか。今、報告したでしょう。地区公民館各種行事謝礼とか、それから各種講座関係謝礼とか金額が載っているのではないですか。

全て網羅した形でまとめていませんか。まとめている資料は何ですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

金額ベースでまとめているものはあります。公民館ごとに事業の実績といたしまして、事業ごとの開催期日、日数及び参加者数とまとめたものがございます。これに伴って、手元に正式にまとめたものはありません。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

正式にまとめたものがなければ、後で私のほうで資料請求いたしますから、それをまとめていただきたいと思います。私、資料請求します。

○川村成二委員長

あと、今、佐藤委員が講師謝礼でいろいろ話をしています。

平成28年度と平成29年度で、全体的に見て、講師謝礼で大きく変動があったものがあるのか、ないのか。決算で見られる範囲としてはそういう方向ですよ。その辺で、あったのかないのか、今わかる範囲で結構ですので、説明していただけますか。

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

講師謝礼等に関しましては、大きく変わったものはないと思います。

多少、実施回数に増減があったものは、募集しても集まらなかったというようなケースが起きると、どうしても講師謝礼も発生しないので、そういうところが原因になっているということはあったかと思えます。

先ほどもどこかで言ったと思いますけれども、開催回数の減少、開催を予定していたものが参加者不足とか、いないとかいうようなケースで開催しなかったということで……。

○川村成二委員長

いいです。

単価で大きな変動がなければ、我々委員会としては、適正な運営ができているのかなという評価も一つできますので、その範囲で結構でございます。

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

大きな変化はなかったということでございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

久松委員。

○久松公生委員

決算書 216 ページの図書館費ですけれども、一番下の 18 図書、484 万 6464 円は、本を購入したのですか。

○川村成二委員長

すみません。質問の末尾をはっきり伝えてください。会議録が非常に記録しづらくなります。

久松委員。

○久松公生委員

申しわけないです。

この金額は、図書を購入したということによろしいですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

05 蔵書整備事業（政策）に関しましての図書購入費でございます。18 節備品として、図書を購入したもので、備えつけの貸し出し用でございます。

○川村成二委員長

久松委員。

○久松公生委員

平成 29 年度はこれだけの図書を購入しましたと、今お話しがありましたけれども、これは平成 28 年度、平成 27 年度と毎年のように購入しているわけですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

そちら蔵書整備事業に関しまして、先ほどご説明した前年対比 99.28%ということで、ほぼほぼ執

行率が変わらないので、前年とほぼ同額と思われます。

○川村成二委員長

久松委員。

○久松公生委員

本を購入していろいろな対策をしているのにもかかわらず、やはり図書貸出利用は減っているということで先ほども話がありました。ずっと立て続けに減っていますので、やっぱりここで対策はしているのでしょうか。

一番端の貸し出しスペースで、私は初めての認識で申しわけないですけども、下稲吉郵便局に貸出しスペースを設置など書いてあります。これはどのぐらい前から始まっている事業でしょうか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

すみません、正式にちょっとこの場でお答えかねるのですが、ちょっといつからとはお答えできないところでございます。

あと1点、先ほど対策ということで、平成30年度始まっておりますのが、水曜、金曜日の平日にしまして、開館時間を今まで午後6時だったものを午後8時までと2時間延長して、夜間仕事帰りの方が利用できる環境というのをしています。

失礼しました。閉館時間に訂正してください。

○川村成二委員長

久松委員。

○久松公生委員

ちょっと申しわけないです。ちょっと聞き取れませんでした。今年度の何月から、今の閉館時間を変更したのですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

本年4月からでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

決算書214ページの公民館研修室の防音改修工事と同じ視聴覚室機器更新工事は、いつの入札でしたか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

正式な入札日まではちょっと資料がないのですが、昨年11月入札かと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

一般競争入札の中に入っていますか。

契約日が11月17日、視聴覚室機器更新工事、落札率99.02%ですね。確認できますか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

確認しました。契約日が平成29年11月17日で、落札率が99.02%です。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これは、何者が応募しましたか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

入札は、2者でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、防音改修工事の契約日は11月16日ですね。これは、落札率が89.74%になってい
ますが、これは何者ですか。

○川村成二委員長

生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

こちらも2者でございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

ないようですので、以上で、生涯学習課に対する質疑を終結いたします。

ここで、暫時休憩します。

休 憩 午後 2時37分

再 開 午後 2時45分

○川村成二委員長

再開いたします。

続いて、説明を求めます。

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

それでは、平成29年度生涯学習課のスポーツ振興係分の歳入歳出決算についてご説明いたします。
歳出につきましては、政策事業3事業分でございます。あと一部経常経費についてもご説明をさせて
いただきます。

それでは、最初に歳入についてご説明します。

決算書21ページ、22ページをお願いいたします。

13款1項6目教育使用料でございます。3節体育センター使用料から8節の海洋センター使用料が、

市内にございます体育施設の使用料収入でございます。3節から8節まで合計しまして483万961円ございます。収入率が104.41%でございます。前年度対比につきましては、76.18%でございます。

続きまして、決算書53ページ、54ページをお願いいたします。

20款5項7目雑入でございます。スポーツ振興係の分としましては、54ページ、上から4番目になります教室、講座及び大会参加料でございます。162万9430円のうち、スポーツ振興係分としまして、水泳教室、また市民マラソン大会、国体のデモンストレーションでありますグラウンドゴルフ、ペタンク等の教室の参加料といたしまして、13万6500円が収入でございます。

続きまして、決算書55ページ、56ページをお願いいたします。

同じく雑入になります。56ページの下から6番目、多目的運動広場事務所光熱水費負担金でございます。こちらは、多目的運動広場内にシルバー人材センターの事務所がございますので、1カ月当たり1万円、年間で12万円の負担金収入でございます。

歳入については、以上でございます。

続いて、歳出をご説明させていただきます。

決算書221ページ、222ページをお願いいたします。事務事業評価シートにつきましては、311ページをお願いいたします。

10款5項1目保健体育総務費、03かすみがうらマラソン大会開催事業（政策）でございます。こちらは、毎年4月に開催されておりますかすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会の補助金300万円の支出でございます。予算執行率100%、前年度対比についても100%でございます。このマラソン大会につきましては、実行委員会を組織しております。土浦市から1,300万円、かすみがうら市から300万円の補助金を支出して開催しているものでございます。平成29年度の大会につきましては、25度を超える夏日となり、厳しい状況での大会でございました。エントリー数につきましては、2万3731名、茨城県からは7,174名、かすみがうら市からは365名が参加をしているところございます。

続きまして、決算書221ページ、222ページでございます。事務事業評価シートにつきましては、313ページでございます。

05市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）でございます。この事業につきましては、市民ふれあいスポーツフェア、またマラソン大会、各種スポーツ教室等のイベントを開催しまして、市民のスポーツレクリエーション活動の機会を提供し、体力づくり、健康増進を推進するものでございます。予算に対し執行率は89.96%でございます。前年度比につきましては、165.78%でございます。主な支出としましては、8節のスポーツ講師謝礼や各種大会記念品でございます。内容につきましては、10月に開催されますスポーツフェア、また2月に開催されております市民マラソン大会への参加賞代やメダル代等の記念品が主でございます。

また、13節市民協働スポーツ推進事業委託で130万円の支出でございます。内容としましては、市内に2つございます総合型スポーツクラブへのスポーツレクリエーションサイトの活動に対する委託30万円、また、来年開催されます茨城国体かすみがうら市実行委員会を設立しましたので、そちらに委託することで100万円の支出でございます。

続きまして、決算書223ページ、224ページをお願いいたします。事務事業評価シートにつきましては、315ページでございます。

07スポーツ団体育成事業（政策）でございます。この事業につきましては、スポーツ推進委員が体育協会等の活動を通して、さまざまなスポーツに取り組んでいる団体とその主催大会を支援、協力を行っているものでございます。予算に対する執行率につきましては86%でございます。主な支出とい

たしましては、13 節スポーツ少年団球技大会委託に 50 万円の支出でございます。こちらは、スポーツ少年団軟式野球、ソフトボール、バレーボール等でございますが、これの委託によりまして、全て自主運営で大会を開催していただいているものでございます。

また、19 節体育協会補助金 326 万 5000 円でございます。体育協会補助金につきましては、事業費助成型補助金でございます。支出予算のうち、会議費、各種補助金等の 75%を補助するものでございます。

続きまして、一部経常経費について、ご説明をさせていただきます。

決算書 223 ページから 228 ページになります。

10 款 5 項 2 目体育施設管理費でございます。02 体育センター管理運営事業から次のページの 06 第 1 常陸野公園管理運営事業、こちらが市内にございます体育施設の維持管理事業でございます。全体で予算額 7492 万 2000 円に対し、支出済額が 7239 万 1515 円でございます。執行率が 96.62%でございます。こちらの主な支出といたしましては、13 節の施設管理委託で草刈り、芝刈り、また除草剤等の緑地管理委託と、また各施設に受付がございますので、受付管理業務委託の管理人の委託でございます。

また、各施設とも大変老朽化が進んでございますので、修繕箇所が多く見受けられるところでございます。こちらにつきましては、優先順位を決めまして、利用者の方が快適にスポーツを楽しめるよう努めているところでございます。

その他、施設管理面で大きな支出となりますのは、光熱水費でありますとか、土地借上料等でございます。光熱水費につきましては、利用者の協力を得ながら、危険な状態とならないよう節電に努めているものでございます。また、借地料につきましても、単価の見直しの地権者と協議するところ、本当に必要なものは買い取りも視野に入れまして、財産調整担当課と協議をしているところでございます。

説明については、以上でございます。

○川村成二委員長

あわせて、配布されています資料の利用状況についても、補足があれば説明をお願いします。

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

それでは、一般会計決算審査特別委員会資料、平成 30 年 9 月 21 日に提出させていただいている 1 ページについてご説明をさせていただきます。

1 ページ、社会体育施設利用状況でございます。この中で、全体合計を見ますと、平成 26 年度、平成 27 年度、平成 28 年度と 13 万人代をキープしていたようでございますが、平成 29 年度は 11 万 1649 人という利用者数となっております。

前年度と比較いたしまして、B&G海洋センターと体育センターにつきましては、若干増となっております。多目的運動広場、また、わかぐり運動公園につきましては、前年度と比較しまして多目的運動広場が約 6,000 人減、わかぐりが約 8,000 人減という状況でございます。

このように減となった理由としまして考えられますのは、先ほども申し上げたように、施設も老朽化してございまして、決して使いやすい状態ではございません。また、トイレにつきましても、洋式のところが現在はございません。また、体育館につきましても、LED化にまだなっておりませんので、暗いというような苦情もございます。

そうした中で、一昨年、学校教育課の教育推進計画の中で、保護者を対象に体育施設の満足度につ

いて意識調査をしてございますが、その中でも満足かどうかという問いに対しまして、満足であるとやや満足が1割にとどまっております、9割が満足していないような状況でございます。

また、公共予約システムの普及によりまして、市外の方もかすみがうら市の施設を使えますけれども、逆に市内の方が施設の整ったほかの施設も利用できますので、その辺のことも減になっていると考えられるところでございます。

なお、平成28年度までの集計方法につきまして、インターネットや直接申請でありまして、窓口を通ります。平成28年度は、その申請件数で集計していたとおりでございますが、平成29年度につきましては、より正確な利用者数を算出することで、施設の管理人の協力を得まして、窓口を通さず、申請が30人であった場合、実数は何人かというよう聞き取りを行っております。例えば、30人で申請をして、当日は25人という場合が多く、30人が40人になることはそんなにありません。そういうのも要因ではないかと感じているところでございます。

以上でございます。

○川村成二委員長

以上で、説明が終わりました。

それでは、スポーツ振興課に対する質疑等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

来栖委員。

○来栖丈治委員

決算書222ページになります。04市民ふれあいスポーツ推進事業について、光熱水費578万円、予算組み850万円ほど組んであったのですが、ちょっと私に想像つかなかったものですから、この施設で、予定と違ってきた経緯を教えてください。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

04市民ふれあいスポーツ振興事業の11光熱水費でございます。平成29年度より、霞ヶ浦地区小学校の統合により、安飾小学校、佐賀小学校、牛渡小学校、宍倉小学校、下大津小学校、志士庫小学校が廃校となったところでございます。スポーツ振興課といたしまして、その6校をスポーツ団体等に夜間開放をしてございます。その夜間開放に伴います体育館の照明料を、この市民ふれあいスポーツ推進事業に計上したものでございます。

270万円ほど減額補正をしてございますが、当初、6校で予算計上したものでございますが、年度途中で佐賀小学校、安飾小学校、牛渡小学校につきましては、利用者がゼロになってございます。そういった関係で、光熱水費も減ということで減額補正をしたところでございます。

以上でございます。

○川村成二委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

次に、決算書223、224ページです。体育施設管理費で1,000万円ほど減額をしております。主なもの1,000万円を減額した内容をお聞かせいただきたいと思っております。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

内容的には、契約差金でございます。平成26年度から平成28年度につきましては、一括管理ということで、緑地管理と受付管理を全て含めたものでございました。平成29年度につきましては、緑地管理と受付管理を分けました。緑地管理につきましては、地元業者を使うという内容で見積もりを徴したところでございます。予算額に対する積算でございますが、予算額に追いつかないということで、緑地管理の中の芝刈りと草刈りににつきましては、職員対応で実施するという内容で入札をかけたものでございます。そうした関係で、入札をした結果、このような契約差金が発生したものでございます。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 3時05分

再 開 午後 3時06分

○川村成二委員長

再開いたします。

そのほか、質問はございますか。

来栖委員。

○来栖丈治委員

先ほど課長の説明の中で、土地借上料について、借りている先とも、契約額について相談したり、また庁内でも公共施設の関係で協議がされているという報告があったかと思うのですが、今進めている段階の話をお聞かせいただければと思いますが。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

土地借上料につきましては、5年に1回の見直しを行っているところでございますが、地権者との協議の中で、なかなか単価を下げていくのは、現在難しいところでございます。

先ほど言いました財産調整部局と協議しているのは、借地の減少ということで、現在進めているの第1常陸野公園につきましては、7割が市所有となっております。3割について、今後買い上げていくような方向で地権者の方、また財産調整部局と協議を進めています。

○川村成二委員長

申しわけありません。今の話は、平成30年度の取り組み状況ですね。来栖委員は、それを聞いているのでしょうか。それとも平成29年度の実績を質問しているのでしょうか。その辺、整理していただいてももらわないと、我々が何を判断すればいいのかがわかりませんので、よろしく願います。

来栖委員。

○来栖丈治委員

もう一度聞き直します。

土地借上料については、予算とイコールで決算額になっているようでありました。先ほど課長からの説明で、協議をしながら進めているということだったので、結果として同額なのか、その協議した経過が決算にあらわれていないように感じたものですから、そのところを確認したいと思って質問しています。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

平成 29 年度につきましては、全部の地権者とは協議してございません。契約満了が近い地権者の方には、単価についてお話しはしているところがございますが、なかなか相手方としては下げるとするのは難しいような回答を聞いています。平成 29 年度につきましては、そういう状況でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

今に関連して、ですから平成 28 年度も平成 29 年度も、スポーツ振興課担当の公共施設の土地借上料について、同額であるという認識でいいわけですね。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

平成 28 年度、平成 29 年度につきましては、そのような状況でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それを事務事業評価シートで明らかになっているのは、どこですか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

維持管理費につきましては、経常経費でございますので、事務事業評価シートには反映されておられません。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、体育センターとか、その他のところの使用料について、前年度対比は言いましたか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

使用料につきましては、前年度対比 76.18%でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

76.18%ということは、私は書いたけれども、それはどこでしたか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

決算書 22 ページでございます。その中の 3 節体育センター使用料から 8 節海洋センター使用料の合

計でございます。こちらが 483 万 961 円でございます。ちなみに、昨年度は 634 万 1654 円でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 28 年度は 634 万円で、平成 29 年度は 483 万円だった。前年度対比が 76.18%ということですよ。そうすると、これと見合わせればいいのですか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

利用人数も確かに減となってございますので、そちらも影響あるものと考えてございます。大きな要因として考えられますのは、平成 29 年度の全施設の利用料金の見直しが影響しているものと考えているところでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

スポーツ振興課だけではなくて、社会教育の施設の利用について料金の見直しがあったので、減免の対象でないところが利用しなくなったのではないかとこの可能性もあるとおっしゃっていました。それも一つの要因だと考えますか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

減免の関係もございませう。また、体育施設との各利用料金の旧霞ヶ浦と千代田の料金格差を是正した結果がこのような形になっているものと考えているところでございませう。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それからおっしゃっていたのは、要因が老朽化によるもの、それからトイレがまだまだ改修されていない、それと LED 化がされていない、それと満足度調査で、9 割が不満だと。

満足度調査した結果は、議会には提出されていますか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

教育振興基本計画の基礎資料でございますので、そちらは提出されていないものと。

○川村成二委員長

ちゃんと答えてください。まとめていますならいませう、話を一旦切ってください。

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

教育振興基本計画の基礎資料でございますので、こちら、もし提出がなければ、このまま提出させていただきます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ちょっとそうではなくて、満足度調査をしたわけでしょう。それは、今、基本計画か何かの見直しをやって、平成 29 年度にそれが成果品として出ているということですか。

それが、もう既にホームページにアップされているという意味ですよ。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

今、おっしゃられた内容につきましては、全て成果品として出てございますので、全て公表されている内容でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 29 年 3 月末に、それが成果品として上がっていると。それがホームページに出されているのですか。ちょっと、それをきちんと教えてください。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

平成 29 年 3 月に公表されているものです。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 29 年 3 月ということは、平成 28 年度の事業だったということですね。

満足度調査については、平成 28 年度の満足度調査だということ。それが公表されたのは平成 28 年度末の平成 29 年 3 月。ホームページにアップしたのが、平成 29 年 4 月からということですね。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

おっしゃられるとおりでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ということは、満足度調査については、ホームページにアップされているから、それを見ればわかるということですね。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

おっしゃるとおりでございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 28 年度と平成 29 年度の違いをちょっと言っていたのは、平成 28 年度は、申請者数の登録を集計した。ところが、平成 29 年度は、窓口で管理人の方にきちっとお願いして実数を把握し、その違いがあらわれているとおっしゃったような気がするの、その理解でよろしいですか。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

通常、集計方法としまして、ほかの市町村に聞きますと、申請者数でやっているような内容でございますが、より正確な人数を把握するというので、完全に 100%聞き取りができていない状態ではございませんけれども、実際に聞き取って、正確な数字を積み上げている状況でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

そういうのであれば、平成 29 年度の調査の仕方については、平成 28 年度とこういうふうには違いますが、というコメントを入れておいたほうがいいと思います。平成 25 年度、平成 26 年度、平成 27 年度、平成 28 年度はそうではなかったわけだから、そういう意味では、そういう違いがわかる。老朽化、トイレや暗いとかは関係なく、統計的な数字としては、やり方が一つ変わっていますというコメントを入れておいたほうがよろしいかと思えます。

○川村成二委員長

スポーツ振興課長 金子俊文君。

○スポーツ振興課長（金子俊文君）

今、佐藤委員がおっしゃられたように、そういうコメントを入れて、これ以降も引き続き、正確な数字の積み上げに努めていきたいと思えます。

○川村成二委員長

それでは、以上で、スポーツ振興課に対する質疑を終結いたします。

暫時休憩します。

休 憩 午後 3 時 1 9 分

再 開 午後 3 時 2 2 分

○川村成二委員長

再開いたします。

それでは、学校教育課から資料の配布がございましたので、説明を求めたいと思えます。

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

それでは、追加の資料の説明をさせていただきます。

まず 1 点目、要保護・準要保護児童生徒就学援助費に係る年度別状況ということで、平成 28 年度、平成 29 年度ということでご説明をさせていただきましたが、改めて数字を申し上げます。

平成 29 年度につきましては、要保護、小・中合わせて 8 名、それから準要保護 156 名、合計で 164 名、認定率が 5.08%でございます。平成 28 年度につきましては、要保護が 9 名、準要保護が 135 名、合計 144 名で、認定率が 4.38%でございます。平成 28 年度と比較しますと、20 名が増となっております。

続きまして、2 枚目の支援を要する児童生徒で、ひたちの広場に通っている児童生徒の内訳でございます。平成 29 年度、まず小学校ですが、2 名通っております。まず、下稲吉小学校、小学 4 年生が 1 名、下稲吉東小学校、小学 5 年生が 1 名で、合計で 2 名になります。それから、中学校ですが、中学 1 年生が 3 名通っております。内訳として霞ヶ浦中学校 1 名、千代田中学校 1 名、下稲吉中学校が 1 名で、合計 3 名になります。中学 2 年生は、霞ヶ浦中学校で 1 名になります。中学校 3 年生は、霞ヶ浦中学校が 2 名、下稲吉中学校が 1 名で、3 名になります。合計は、中学生が 7 名で、小、中合わせて 9 名の方がひたちの広場に通っている状況でございます。

続きまして、部活動の状況ですが、平成 29 年度関東大会、それから全国大会に行っている回数と人数、それから補助の金額ということです。延べ人数として 82 名の方の補助を行っております。

補助の金額については、行き先、それから人数によって違いますが、合計で 393 万 1000 円の補助という内訳になってございます。

続きまして、給食業務委託の入札の内訳でございます。

入札につきましては、小学校分、中学校分、1 つの契約として入札を行っております。予定価格としましては、1 億 1592 万 9000 円、落札価格が税抜きで 9274 万 1000 円となっております。応札された業者は 2 社ということで、日京クリエイトが落札をしております。

小学校、中学校の内訳といたしまして、小学校税抜きが 5350 万 4000 円、それから中学校が税抜き、3923 万 7000 円という内訳になってございます。

年度途中に変更がございまして、小学校、中学校、それぞれ変更がございまして。金額としましては、こちら税込みですが、小学校が 54 万 3980 円、中学校が 33 万 4756 円の増額ということで変更させていただいております。

続きまして、スクールバスになります。

スクールバスの補助対象の人数ということで、こちら資料はございませんが、口頭で申し上げます。

まず、霞ヶ浦中学校、平成 29 年度につきましては、乗車をしている生徒が 90 名のうち、6 キロメートル以上で、補助対象となっている方が 49 名となっております。それから、霞ヶ浦南小学校、乗車をしている児童 269 名中、152 名が補助の対象の児童となっております。

[「もう 1 回、お願いします」と呼ぶ者あり]

○学校教育課長（加藤洋一君）

269 名中、152 名が補助の対象でございます。

次に、霞ヶ浦北小学校ですが、乗車をしている児童 235 名中、91 名の方が補助対象でございます。

続きまして、事務事業評価シートの 223 ページ、ひと創生事業（政策）の業務委託についてでございます。

こちらは、平成 29 年度においてプロポーザルを行っております。3 者が応札をしまして、株式会社アクトビジョン、それから株式会社情報技術、株式会社光和印刷の 3 者がプロポーザルに参加しまして、落札が株式会社アクトビジョン、金額 59 万 6700 円でございます。

それから、下稲吉小学校の工事内訳についてでございますが、午前中の説明の中で、不用額、下稲吉小学校の外構と申し上げましたけれども、下稲吉小学校の外構工事と霞ヶ浦南小学校の工事を含め

ての不用額が入ってございました。その点、訂正をさせていただきます。工事の内訳につきましては、磯山補佐よりご説明いたします。

○川村成二委員長

学校教育課長補佐 磯山健史君。

○学校教育課長補佐（磯山健史君）

それでは、私のほうから小学校整備費の工事請負費の不用額につきまして、ご説明させていただきます。

2つ目の資料をよろしくお願ひします。

こちらは、6月の決算審査の資料です。そちらの資料をもとに説明させていただきます。

不用額となっています3940万6408円の内訳書につきましては、こちらの様式2と書かれております資料の03小学校整備費、下稲吉小学校施設整備事業（政策）と美並小学校施設統合環境整備事業（政策）の2つの事業の不用額となっております。

内訳につきましては、一番右側にあります不用額、下稲吉小学校につきましては、65万4803円、美並小学校施設統合整備につきましては、3875万1605円という状況であります。こちらの2つの合計が3940万6408円となっております。

続きまして、佐藤委員からお話しのありました下稲吉小学校の工事の内訳について、ご説明させていただきます。

次のページをお願いします。

こちらは、平成29年度の歳入歳出主要事業執行結果説明書の資料をもとに、ご説明させていただきます。

次のページをお願いします。A3横の工事の施工状況が書かれている資料となります。

こちらの中段にございます下稲吉小学校施設整備事業（政策）の内訳でございます。

赤ぼちでつけさせていただきました2つ、下稲吉小学校外構工事（第Ⅲ期工事）、こちらと下稲吉小学校グラウンド整備工事の2項につきましては、先ほど課長のほうから説明をさせていただきました入札を行って、主要な整備工事となっております。

そのほかに、工事の中で現状に合わせて協議し、実施した工事が、下の段、5事業あります。こちらにつきましては、下稲吉小学校I T Vカメラ移設工事、下稲吉小学校銘板設置工事、下稲吉小学校フェンス工事、下稲吉小学校既存ガス撤去、再設置工事、下稲吉小学校家庭科室洗濯置き場の新設工事をやらせていただいております。

こちらの合計7つの工事を合わせて、一番右側にあります赤で囲わせてもらいました4283万197円の事業の内容となっております。

以上です。よろしくお願ひします。

○川村成二委員長

それでは、この資料に対して何かご質問ございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

まず、3ページの平成29年度だけなので、平成28年度も後でつけ加えて、そうするとよくわかりますから。ふえているわけですからね。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

後でつけさせていただきます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

4ページの資料で、東京天竜と日京クリエイト、東京天竜は無効、郵送により辞退ということですから、1者ということになるのではないですか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

結果的には、1者ということになろうかと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これで業務を見直すということで、平成30年度は業務を見直して、見積もりを3者取ったということでしたよね。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

給食の業務委託につきましては、入札を実施してございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ごめんなさい、見積もりじゃなくて、入札を実施した。平成30年度は入札を実施したということですね。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

そうでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ついでに委託した中身も、後で教えていただけますか。

○川村成二委員長

学校教育課長 加藤洋一君。

○学校教育課長（加藤洋一君）

それでは、仕様書を添付させていただきたいと思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、ちょっとよくわからなかったのが、44 ページと今言った説明とは合っているのですか、合っていないのですか。

○川村成二委員長

説明できますか。
暫時休憩します。

休 憩 午後 3時35分

再 開 午後 3時38分

○川村成二委員長

再開いたします。
それでは、学校教育課に対する資料の説明を終結させていただきます。
続いて、生涯学習課から説明がございますので、説明を求めます。
生涯学習課長 仲澤 勤君。

○生涯学習課長（仲澤 勤君）

それでは、先ほど来栖委員からご質問がありました図書館費の21万円の補正の件に関しまして確認してまいりましたので、ご報告させていただきます。

21万円の補正に関しまして、9月と3月に実施しました。9月に図書館費としまして11万円、職員の人件費でございます。こちら総務課の予算でございます。また、3月に同補正を10万円いたしました。こちら職員の人件費に係るものでございます。

以上、合算しまして21万円ということで、総務課所管の決算の内容でございます。
以上でございます。

○川村成二委員長

それでは、以上をもちまして教育委員会の質疑を終結いたします。
ここで、部署の交代をお願いいたします。
暫時休憩します。

休 憩 午後 3時40分

再 開 午後 3時41分

○川村成二委員長

再開いたします。
次に、議案第53号のうち農業委員会事務局の所管に係る部分を議題といたします。
説明を求めます。
農業委員会事務局 大久保定夫君。

○農業委員会事務局（大久保定夫君）

農業委員会事務局です。よろしくお願いたします。着座にて説明させていただきます。
それでは、農業委員会事務局所管の平成29年度決算についてご説明をいたします。
最初に、歳入について、決算書によりご説明をいたします。
決算書29、30ページをお開きください。
中段にございます14款2項4目農林水産費国庫補助金、1節農業費補助金、機構集積支援事業補助

金 220 万円です。これは、農地法に基づく農地の利用状況調査の実施等に係る経費の事務費補助です。

次に、決算書 43、44 ページをお開きください。

上段でございます 15 款 4 項 3 目農林水産業費県交付金、1 節農業費交付金のうち、備考欄の一番上にあります農業委員会交付金 379 万 4000 円です。これは、農業委員会等に関する法律に基づく農業委員会の業務に従事する農業委員の手当や、職員設置等に要する経費についての交付金で、交付率は定額です。定額交付です。

次に、決算書 51、52 ページをお開きください。

20 款 4 項 2 目農林水産業費受託事業収入、1 節農業者年金業務受託事業収入、農業者年金受託金 39 万 9000 円です。これは、農業者年金基金からの、農業者年金の業務を行う市町村に対する委託手数料です。

歳入は、以上でございます。

続きまして、歳出につきましては、事務事業評価シートによりご説明をいたします。

事務事業評価シート 325 ページをお開きください。決算書 149、150 ページになります。

03 農業委員会運営事業（政策）です。これは、農業後継者組織相互の連絡、近代的農業技術及び経営に関する研修、農政活動への参加及び後継者養成等、市の農業振興のため、市農業後継者連絡協議会へ補助を行うものです。決算額 10 万円で、前年度と同額です。

次に、事務事業評価シート 327 ページをお開きください。決算書 155、156 ページになります。

03 農用地利用集積特別対策事業（政策）です。これは、農地法に基づき、農地の利用状況調査、遊休農地の所有者等に対する利用意向調査を実施し、農地集積や遊休農地対策を行うものです。決算額 357 万 5000 円で、前年度に比べ 14 万 5000 円の減となっております。

説明は、以上でございます。

○川村成二委員長

以上で、説明が終わりました。

それでは、農業委員会事務局に対する質疑等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。
佐藤委員。

○佐藤文雄委員

事務事業評価シート 327 ページで、賃金が下がっていますが、この説明をしていただけますか。

○川村成二委員長

農業委員会事務局長 大久保定夫君。

○農業委員会事務局長（大久保定夫君）

平成 28 年度については、6 月分から 3 月分ということでしたが、平成 29 年度については、7 月分から 3 月分で、雇用期間が短くなったということでございます。雇用は 2 名でございます。

以上です。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それから、農地の管理で大きく変動というのは、どういう表を見ればわかるでしょうか。農地を別にする、農地転用です。農地転用は資料としてはどこを見ればわかるでしょうか。

○川村成二委員長

農業委員会事務局長 大久保定夫君。

○農業委員会事務局長（大久保定夫君）

決算書と事務事業評価シートには数字的なものは出てきません。3条、4条、5条許可の平成29年度の件数を申し上げます。

農地法3条の許可が97件。続きまして、農地法4条許可が8件。続きまして、農地法5条の許可が60件ということでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

それは平成29年度ですね。平成28年度は、どうですか。

○川村成二委員長

農業委員会事務局長 大久保定夫君。

○農業委員会事務局長（大久保定夫君）

平成28年度につきましては、農地法3条の許可73件、農地法4条の許可5件、農地法5条の許可67件でございます。

以上です。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ちなみに、その3条、4条、5条許可の簡単な説明をお願いします。

○川村成二委員長

農業委員会事務局長 大久保定夫君。

○農業委員会事務局長（大久保定夫君）

まず、農地法3条の許可申請ですが、こちらは農地の貸し借りとか売買をするときの許可でございます。

続きまして、農地法4条の許可につきましては、農地の所有者が農地を転用するときの許可でございます。

農地法5条の許可につきましては、農地の権利譲渡、いわゆる売買等を伴って農地を転用するときの許可でございます。

以上です。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○川村成二委員長

それでは、農業委員会事務局に対する質疑を終結いたします。

ここで、部署の交代をお願いいたします。

次に、議案第53号のうち消防本部の所管に係る部分を議題といたします。

説明を求めます。

消防長 雨貝 忠君。

○消防長（雨貝 忠君）

本日の審査につきましては、9款消防費の職員人件費及び災害対策費を除きました決算についてお

願いをするものでございます。詳細につきましては、消防総務課長の田山からご説明をいたします。よろしく願いをいたします。

○川村成二委員長

それでは、説明を求めます。

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

消防本部所管分の消防費に関する平成 29 年度決算について、歳入についてご説明をいたします。

決算書 25、26 ページをごらんいただきます。

13 款使用料及び手数料、2 項手数料、6 目消防手数料、備考欄、危険物施設申請手数料 50 万 6150 円につきましては、危険物施設許認可に係ります 32 件分の申請手数料でございます。

続きまして、決算書 31、32 ページをごらんいただきます。

14 款国庫支出金、2 項国庫補助金、8 目消防費国庫補助金、備考欄、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金 4222 万 3000 円につきましては、西消防署配置の平成 10 年式救助工作車 1 台分を更新整備したもので、補助率は基準額の 3 分の 2 となっております。

続きまして、決算書 51、52 ページをごらんいただきます。

20 款諸収入、4 項受託事業収入、3 目消防費受託事業収入、備考欄、常磐道救急業務受託事業支弁金 496 万 7520 円につきましては、高速道路における救急隊 1 隊を維持するための経費支弁金でございます。

続きまして、決算書 53、54 ページをごらんください。

20 款諸収入、5 項雑入、7 目雑入、備考欄の中央になります自治総合センターコミュニティ助成金 1190 万円のうち、消防分としまして 100 万円につきましては、少年消防育成事業としまして、心肺蘇生の訓練等に使用します人形や A E D 等を整備したものでございます。

続きまして、決算書 53、54 ページをごらんいただきます。

備考欄の一番下になります消防団員退職報償金 990 万 9000 円につきましては、消防団員 30 人分の退職報償金でございます。

歳入については、以上でございます。

歳出につきましては、事務事業評価シートによりましてご説明をします。

事務事業評価シート 329 ページをごらんいただきます。決算書につきましては、179、180 ページとなります。

04 常備消防事業（政策）についてご説明をいたします。執行額 144 万 9000 円となっております。

内訳としまして、18 節備品購入費 103 万 9000 円につきましては、先ほど歳入でご説明いたしました自治総合センターコミュニティ助成金の決定を受けまして、補正予算によりまして、少年消防育成事業用備品を整備したものでございます。

19 節負担金、補助及び交付金 41 万円につきましては、幼少年婦人防火委員会の補助金でございます。

次に、事務事業評価シート 331 ページをごらんいただきます。決算書につきましては、181、182 ページとなります。

03 消防団運営事業（政策）についてご説明をいたします。執行額 158 万円 3000 円でございます。

内訳としまして、8 節報償費 3 万 3000 円につきましては、市の操法大会の記念品でございます。

次に、19 節負担金補助及び交付金 155 万円につきましては、茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会出場補助金 70 万円及び消防団分団補助金 85 万円でございます。

次に、事務事業評価シート 333 ページをごらんいただきます。決算書につきましては、先ほどと同ページになります。

02 消防車両整備事業(政策)についてご説明をいたします。執行額 1 億 5998 万 2000 円でございます。

内訳としまして、13 節委託料 213 万 3000 円につきましては、西消防署の指揮車及び西消防署の救助工作車の車両更新に伴う無線装置等の載せかえ経費でございます。

次に、16 節原材料費 10 万円につきましては、救助資機材の収納棚を整備するための材料費でございます。

次に、18 節備品購入費 1 億 5774 万 9000 円につきましては、西消防署配置の指揮車 301 万 5428 円及び救助工作車 1 億 5473 万 3792 円の車両購入費用でございます。救助工作車につきましては、歳入でご説明いたしました防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用いたしまして、補正予算によりまして、車両の購入及び無線装置の載せかえを行っております。

次に、事務事業評価シート 335 ページをごらんいただきます。決算書につきましては、183、184 ページになります。

04 消防水利整備事業(政策)についてご説明をいたします。執行額 1399 万円でございます。

内訳としまして、13 節委託料 48 万 6000 円につきましては、下大堤及び稲吉南地内については、平成 30 年防火水槽の設計業務の委託料でございます。

15 節工事請負費 1251 万 6000 円につきましては、耐震性防火水槽 1 基及び消火栓 7 基の新設工事でございます。防火水槽の解体工事としまして 3 基の解体を行っております。

18 節備品購入費 98 万 8000 円につきましては、消火栓用ホース 50 本を購入したものでございます。

次に、事務事業評価シート 337 ページ、決算書につきましては同ページになります。

06 消防団施設整備事業(政策)についてご説明をいたします。執行額 579 万 1000 円でございます。

内訳としまして、13 節委託料 83 万 4000 円につきましては、宍倉地内及び柏崎地内の消防団詰所のトイレ設置工事の設計委託費でございます。

15 節工事請負費 495 万 7000 円につきましては、宍倉及び柏崎地内の消防団詰所 2 カ所のトイレ設置工事費用でございます。

以上が、歳出の説明となります。

続きまして、資料の説明をよろしいでしょうか。

お手元に配布しました災害概況について、説明をさせていただきます。

災害概況の 1、2 ページをごらんください。

火災につきましては 16 件で、昨年と比較しますと 3 件減少しております。内訳としましては、建物火災が 2 件、車両火災が 1 件増加しております。減少したものについては、林野火災が 2 件、その他の火災が 4 件ほど減少しております。

続きまして、ページをめくっていただきまして、3、4 ページをごらんいただきます。

救急につきましては、総件数で 23 件の増加となっております。内訳としましては、急病が 33 件の減少となりまして、交通事故 37 件、そのほかの事故種別で 19 件の増加となっております。詳細につきましては、資料のとおりとなりますので、ご確認をお願いしたいと思います。

以上で、説明を終了いたします。

○川村成二委員長

それでは、説明が終わりました。

消防本部に対する質疑等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

決算書 26 ページの手数料で、平成 29 年度決算は 32 件、前年度は幾らでしたか。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

平成 28 年度は 47 件、歳入については 110 万 50 円になります。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

これは、減っているとか、ふえているというのは、何か特殊要因とかいうのはあるのですか。

○川村成二委員長

消防本部次長 武田義信君。

○消防次長（武田義信君）

危険物手数料につきましては、法令に基づく危険物工事申請料、完成検査手数料になります。したがって、危険物の施設工事にあわせて手数料の増減がございますので、ふえる、減るというのは、その工事件数によるものです。

以上です。

○川村成二委員長

ほかにございますか。

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

事業評価シート 329 ページですけれども、少年消防クラブ育成事業で 103 万 9000 円計上されますけれども、少年消防クラブ内容、詳細を教えてください。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

少年消防クラブにつきましては、クラブ数は 7 クラブほどございまして、幼年消防クラブが 1 クラブと、少年消防クラブ、小学校のクラブが 5 つございます。あとは婦人防火クラブが 1 クラブということで、合わせて 7 クラブになっております。

事業内容につきましては、年度初めの総会から始まりまして、少年消防クラブですと、学校内の消防設備の点検を実施したり、あと体験学習です。消防署で放水訓練したり、煙体験だったりというような体験学習。あと秋と春と火災予防運動がございまして、そこでポスターの作成と、あとは公共施設等への掲示を行っております。

幼年消防クラブにつきましても、総会等がありまして、活動としましては、防火映画の上映とか、花火教室などを行っております。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

あともう一点、事務事業評価シート 331 ページの消防団運営事業ですけれども、今、かすみがうら

市全体で消防団員は何人いて、定数に達しているのか、その辺ちょっとお聞かせいただけますか。できれば、千代田地区と霞ヶ浦地区4分団までと残りで、わかれば教えてください。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

消防団員の現在の団員数につきましては、555名となります。条例定数につきましては605名ということで、50名マイナスとなっております。分団ごとの数につきましては、今、手元に資料がございませんので、後ほど資料を提出したいと思います。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金が4222万3000円、補助率3分の2という発言があったような気がするのですが、事務事業評価シートで、自主財源として1億1775万9000円とありますよね。3分の2の発言は、私の聞き間違いでしょうか。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

補助率につきましては、基準額の3分の2となります。示されております基準額につきましては、6333万5000円となります。この3分の2となっております。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

ということは、基準額よりも高い買い物をしたということですか。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

高い買い物というか、基準額に合わせた補助率3分の2ということで、満額の補助を受けたということになっていると思います。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

救助工作車の取得が1億5473万3792円でしょう。それと、この基準額が6333万5000円でしょう。それがちょっと金額的に合わないから、高い買い物ですかと言ったのですよ。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

確かに1億5000万円の高額な車両ではあります。でも、一番補助率の高いものを利用したものと考えております。

防衛補助ということで、ほかの補助を利用するのに比べて、一番有利な補助かと認識しております。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

いわゆる基準額、目いっぱいを使うというようにして、3分の2を国から補助金をもらったと。だけれども実際には、購入する際は、その金額ではなくて落札した金額になったと。いわゆる補助を受けるための財源を大きく確保するために、基準額というのを目いっぱいの基準額で設定したということになると思います。ということは、この基準額とは、どう見てとればいいでしょうか。実際に発生したものと比べると、入札した結果の金額ですよ。1億5400万のこととの整合性は、どういうふうに考えればいいのですか。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 4時10分

再 開 午後 4時12分

○川村成二委員長

再開いたします。

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

今、お話にありました基準額につきましては、最高額の基準額ということで、6000万円で今の救助工作車がつくれるかということ、実際に1億5000万円かかります。その実際の車両との差があるということで、防衛省の示しております数字との乖離が大きいというのが現実でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

実際には、積み上げて目いっぱいの補助をいただくための基準額を設定しているけれども、それでも実際には現物を購入するには、かなりの乖離がありますという意味で理解してよろしいですか。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

はい、そのとおりでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

救助工作車の取得について、帝商株式会社が落札をしましたよね。この入札は何者で、落札率ほどのくらいでしたか。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

落札につきましては、一般競争入札で3者入札を行っております。落札率につきましては、93.60%でございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

その入札の後の調書、後で提出してください。こういうのは出ていないよね。

○川村成二委員長

議会で議決しました。

暫時休憩します。

休 憩 午後 4時15分

再 開 午後 4時15分

○川村成二委員長

再開いたします。

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

資料につきましては、議会で補正と財産取得とでお諮りいただきましたので、そちらで資料は出ているかと思っておりますので、ごらんおきください。よろしくお願ひいたします。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

消防水利整備で、平成28年度、平成29年度、平成30年度もありますが、計画的にやっていたらいいのかと思っておりますが、数字的に見ていると、計画性とちょっと違うのかと思っておりますが、この消防水利整備については、現状はどう見ればよろしいですか。

○川村成二委員長

消防総務課長 田山明夫君。

○消防総務課長（田山明夫君）

消防本部としまして、年間の計画としましては、防火水槽が2基と消火栓の4基新設で計画的に進めております。今回、消火栓の件数が7基で、予定よりも多いですが、神立停車場線での道路敷設と消火栓新設あわせての工事がありましたので、その件数がふえております。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○川村成二委員長

それでは、消防本部に対する質疑を終結いたします。

ここで、部署の交代をお願いいたします。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 4時18分

再 開 午後 4時18分

○川村成二委員長

再開いたします。

次に、議案第 53 号のうち会計課の所管に係る部分を議題といたします。

説明を求めます。

会計管理者 堀口家明君。

○会計管理者（堀口家明君）

平成 29 年度一般会計歳入歳出決算書のうち会計課が所管する部分につきまして、会計課長の横田からご説明申し上げます。よろしく申し上げます。

○川村成二委員長

それでは、説明を求めます。

会計課長 横田 茂君。

○会計課長（横田 茂君）

それでは、会計課のは政策事業ございませんので、決算書 49 ページ、50 ページからお願いをいたします。

まず、会計課の歳入部分でございますが、20 款諸収入のうち、2 項市預金利子で、歳計現金の利子がございます。収入済額として 6 万 9160 円でございます。

続きまして、歳出に移らせていただきます。

決算書 71 ページ、72 ページをお願いいたします。

会計課の歳出といたしましては、会計管理事業という経常事業 1 事業のみでございます。

72 ページの上段に、02 会計管理事業の区分がございますけれども、このうちの 4 節、7 節につきましては、臨時職員の賃金に係る経費となっております。

会計管理事業の中の大きな支出といたしましては、12 節手数料がございます。こちらは、まず公金収納データの作成に係る、その出来高分の手数料に加えまして、公共料金明細サービスを指定金融機関にお願いしてございまして、水道料金だけですけれども、この取扱手数料の合計ということでございます。昨年度は、合わせまして 267 万 7529 円でございます。

続きまして、13 節収納データ作成が、ただいま申し上げました公共料金収納データ作成に係る委託で、77 万 7600 円でございます。

続きまして、14 節の電話料でございますけれども、こちらのデータを伝送する際に係る電話料で、6 万 4800 円でございます。

概略以上でございますので、よろしくをお願いいたします。

○川村成二委員長

会計課に対する質疑等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

決算書 50 ページで、今言った歳計現金預金利子の前年度は、幾らでしたか。

○川村成二委員長

会計課長 横田 茂君。

○会計課長（横田 茂君）

前年度は、4,545 円です。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

平成 28 年が、4,545 円。平成 29 年度が、6 万 9160 円。この違いを教えてください。

○川村成二委員長

会計課長 横田 茂君。

○会計課長（横田 茂君）

平成 29 年度の状況を申し上げますと、5 億円で基本的に運用をしているケースがございます。合計で 93 日分ございますが、それ以外は 2 億円の運用をしてございます。延べでいいますと、約 336 日分を運用してございます。利率にしましても、期間によって違うのですけれども、ほぼ 0.02% というような状況でございました。その合計が、6 万 9160 円ということでございました。

平成 28 年度は、今、手持ちの資料がございませんが、運用に向けた金額がかなり少額だったのではないかと考えてございます。ほぼ運用していない状況だったのではないかとということでございます。

○川村成二委員長

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

5 億円の運用というのは、どういう中身ですか。

○川村成二委員長

会計課長 横田 茂君。

○会計課長（横田 茂君）

3 カ月の期間でありますけれども、定期預金でございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○川村成二委員長

それでは、会計課に対する質疑を終結いたします。

ここで、部署の交代をお願いいたします。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 4 時 2 4 分

再 開 午後 4 時 2 5 分

○川村成二委員長

再開いたします。

次に、議案第 53 号のうち議会事務局の所管に係る部分を議題といたします。

説明を求めます。

議会事務局長 前島嘉美君。

○議会事務局長（前島嘉美君）

ご苦労さまでございます。

それでは、議会事務局の平成 29 年度の概要についてご説明申し上げます。

決算書につきましては、61 ページから 64 ページになります。

事務事業評価シートにつきましては、317 ページから 324 ページになります。ごらんおき願いたいと思います。

それでは、議会費につきまして、歳入はございませんので、歳出のみということでございます。

決算書 61、62 ページをお願いします。

1 款議会費、予算現額が 1 億 4319 万 5000 円、支出済額が 1 億 3994 万 5439 円、執行率が 97.7%でございます。不用額につきましては 324 万 9561 円でございます。

この不用額の内容でございませうけれども、視察研修旅費等で、全体視察研修の節減と、あと文教厚生委員会及び議会だより編集特別委員会での県外視察研修を実施しなかったことが、主な内容でございます。また、委託料のうち会議録作成業務につきまして、臨時会等がありませんでしたので、そういった関係から作成料が不用額となった関係でございます。また、負担金につきましては、政務活動費等の返還等でございます。

それでは、歳出について、事務事業評価シートにより説明申し上げます。

事務事業評価シート 317 ページをお願いします。決算書は 61 ページ、62 ページでございます。

03 市議会運営事業（政策）396 万 6000 円につきましては、本会議及び各委員会での会議録の作成、会議録のホームページへの公開、本会議ライブ中継の配信 4 カ所でございます。録画映像のホームページへの公開等に要する経費でございます。平成 28 年度より比較しますと、217 万円の減額となっておりますが、平成 28 年度につきましては、HDカメラの設置など、議場内の環境整備の改修が大きかったためでございます。

次に、事務事業評価シート 318 ページをお願いします。

指針の内容でございます。活動指針としまして、会議録の作成につきましては、定例会 4 回、本会議の開会は延べ日数で 23 日となっております。それぞれ平成 28 年度より減っておりますが、これは先ほど申しましたように、臨時会等がなかったものと考えます。成果指標としまして、会議録の閲覧及び録画放映、再生などの件数につきましては 4,193 件、傍聴者数につきましては 360 人でございます。前年と比較して録画再生はふえておりますが、傍聴者数は減少してございます。録画再生の増は、パソコン、スマートフォンなどで視聴できる環境を整備したものと考えます。

続きまして、事務事業評価シート 319 ページをお願いします。決算書は、引き続き 62 ページでございます。

05 市議会だより編集印刷事業（政策）88 万 9000 円につきましては、議会だより及びお知らせ版の発行に要する経費でございます。平成 28 年度と比較しまして、ページ数の増により若干増額してございます。

次に、事務事業評価シート 320 ページをお願いします。

指針の内容でございますが、活動指針として、議会だよりの発行回数は年 4 回、発行部数は 1 回当たり 1 万 3800 部でございます。成果指標としまして、ホームページに掲載した議会だよりの閲覧件数は 330 件で、大きく減少してございます。こちらにつきましては、平成 28 年をピークに年々減少傾向にございます。

続きまして、事務事業評価シート 321 ページをお願いします。決算書は 62 ページの下段から 64 ページでございます。

06 市議会研修活動事業（政策）196 万 9000 円につきましては、他自治体などの先進的事例等の調査

研究を目的とし、議員全体研修会や各常任委員会の視察研修に要する経費でございます。

次に、事務事業評価シート 322 ページをお願いします。

指針の内容ですが、活動指標として、常任委員会及び議会運営委員会が視察した自治体の数が 8 件、議員全体研修は 1 回実施してございます。成果指標としまして、調査研究結果の取りまとめた報告書の件数は 10 件でございます。増加した要因につきましては、全体視察研修や各常任委員会が複数研修を行っているものでございます。

続きまして、事務事業評価シート 323 ページをお願いします。決算書は 63 ページ、64 ページでございます。

08 市議会政務活動費（政策）207 万 9000 円につきましては、市議会議員が行う調査研究活動に必要な経費の一部を交付いたしました。1 会派 15 名の議員に議員 1 人当たり年間 15 万円を交付してございます。

次に、事務事業評価シート 324 ページをお願いします。

指針の内容でございます。活動指標としまして、研修会に参加した延べ議員数は 3 人でございます。成果指標として、政務活動費交付実績額に対する予算執行率は 85% で、前年度より若干ふえてございます。

説明は、以上でございます。

○川村成二委員長

以上で、説明が終わりました。

それでは、議会事務局に対する質疑等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

事務事業評価シート 317 ページ、318 ページですけれども、今、本会議がライブで視聴ができるということで、成果指標が、平成 29 年度は 550 人に対して 360 人ということです。この指標名のところに、本会議の模様を生中継で視聴された方を含むとありますが、これはどのようにカウントされているのですか。

○川村成二委員長

議会事務局長 前島嘉美君。

○議会事務局長（前島嘉美君）

ごらんのとおり千代田庁舎と霞ヶ浦庁舎、あじさい館、中央出張所、4 カ所ライブ中継をしております。それぞれ管理をさせていただいている方に、目視で、きょうは何人傍聴しているかとお聞きしていますので、若干見過ごしている件数もあるかと思えます。大変申しわけないですけれども、その辺は大まかな数え方でございます。

○川村成二委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

ちなみに、ライブでその 4 カ所で傍聴されている方と、実際に議場に来て傍聴された方の内訳は、わかりますか。

○川村成二委員長

議会事務局長 前島嘉美君。

○議会事務局長（前島嘉美君）

委員長、暫時休憩をお願いします。

○川村成二委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 4時34分

再 開 午後 4時34分

○川村成二委員長

再開いたします。

議会事務局長 前島嘉美君。

○議会事務局長（前島嘉美君）

傍聴者数 360 人のうち、議場にいられた方は 155 人でございます。そのほか、千代田庁舎が 28 人、霞ヶ浦庁舎が 48 人、中央出張所が 30 人、あじさい館が 81 人、全員協議会室で、議場に入れなかった方が 18 人おられました。合計で 360 人という内訳でございます。

○川村成二委員長

そのほかございますか。

（発言する者なし）

○川村成二委員長

それでは、ないようですので、議会事務局に対する質疑を終結いたします。

以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。

なお、次回の本委員会は、あす 9 月 26 日水曜日午前 10 時より、当委員会室で、引き続き審査を行います。

それでは、これをもちまして、本日の委員会を散会いたします。

ご苦労さまでした。

散 会 午後 4時35分